



令和5年度
シラバス
～syllabus～

兵庫県立和田山高等学校

目 次

令和4・5年度入学生教育課程

国語	2～7 ページ
地理歴史・公民	8～13 ページ
数学	14～17 ページ
理科	18～20 ページ
保健体育	21～26 ページ
芸術	27～33 ページ
外国語・英語	34～38 ページ
家庭	39～44 ページ
情報	45 ページ
商業	46～52 ページ
学校設定科目	53 ページ
総合的な探究の時間	54 ページ

令和3年度入学生教育課程

国語	56～60 ページ
地理歴史・公民	61～68 ページ
数学	69～74 ページ
理科	75～78 ページ
保健体育	79～82 ページ
芸術	83～84 ページ
外国語・英語	85～90 ページ
家庭	91～96 ページ
商業	97～109 ページ
学校設定科目	110 ページ
総合的な探究の時間	111～116 ページ

令和4・5年度入学生 教育課程

教科	地理歴史	年次	2年次	系列	
科目名	郷土研究 (単位数： 2)				
履修条件	特になし				
対象生徒	2年次で選択する生徒				
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬を中心とした郷土に目をむけ、郷土に息吹く先人の思いを探訪し、地域の風土性に理解を深め、郷土のあり方と地域の活性化を考える力を養う。 ・地域への「誇り・愛着・自負心」を高め、連帯の心を身に着ける。 				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 調べ学習 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	但馬の方言 但馬の地理と自然	地域ごとの方言 但馬の地形 (山・溪谷・谷・峠・川など) 但馬の気候・地域区分		
		但馬の歴史 但馬の由来と伝説 但馬の原始・古代 但馬の中世	アメノヒボコと田道間守 縄文・弥生の但馬、但馬の古墳 奈良・平安の但馬、国府と国分寺 但馬山名氏、戦国織豊時代の但馬		
	2学期	但馬の歴史 但馬の近世 但馬の近現代	但馬の諸藩と生野の変 近代日本に貢献した但馬人 既習のもの、興味のあるものについて調べ、発表を実施		
但馬紹介 観光地・グルメ・ 遺跡など 但馬の偉人		大石りく 北垣国道・原六郎 齋藤隆夫 植村直己 森はな—『じろはったん』を読む			
3学期	但馬の観光	但馬の地場産業 但馬の観光・町並み 現代但馬の課題			
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 レポート		定期考査 ワークシート レポート	ワークシート 振り返りシート レポート 発表	
備考					

教科	地理歴史	年次	2年次	系列	
科目名	政治・経済 (単位数： 2)				
履修条件	特になし				
対象生徒	2年次で選択する生徒				
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の課題解決に役立つ概念や理論を理解し、資料活用の技能を身に着ける。 ・政治・経済に関する概念等を活用して、社会の形成者として公正に判断する力を養う。 ・課題を主体的に解決しようとする態度や、国民主権を担う公民としての自覚を深める。 				
講義の割合					
講義以外の主な活動	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 </div> <p style="text-align: center;">その他の特徴的な活動【 調べ学習 】</p>				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	現代日本の政治 現代日本の経済	民主政治の基本原則 日本国憲法の基本原則 日本の政治機構 現代政治の特質 現代の資本主義経済	基本的人権 地方自治 選挙 資本主義 市場経済	
	2学期	現代日本の諸課題 現代の国際政治	国際政治の仕組み 複雑化する国際政治と日本 国民経済と国際経済 世界経済の現状と課題	少子高齢化 持続可能性 防災 国際法 貿易	
	3学期	国際社会の諸課題	グローバル化にともなう社会変容 地球環境と資源・エネルギー問題 国際的な経済格差の是正 イノベーションの促進と成長市場 民族問題と紛争の解決 持続可能な社会の実現	多文化共生 地球温暖化 貧困 パレスチナ問題	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト		定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート	
備考					

教科	保健体育	年次	1年次	系列	
科目名	体育 (単位数： 2)				
履修条件	必履修科目				
対象生徒	1年次生				
学習目的	健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に応じた運動の計画を立て、生涯を通じて運動を継続する力を養う。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 体育実技 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	「体づくり運動」 選択Ⅰ 「器械運動」 「陸上競技」 「体育理論」	集団行動・新体力テスト マット運動・跳び箱運動 ハードル走 運動スポーツの文化的特徴	人間にとって動くとは スポーツの始まりと変遷	
	2学期	選択Ⅱ 「球技」 「武道」 「陸上競技」 「体育理論」	ベースボール型：ソフトボール 柔道 長距離走 運動スポーツの文化的特徴	文化としてのスポーツ オリンピックと国際理解	
	3学期	選択Ⅲ 「球技」 「体育理論」	ゴール型：バスケットボール ネット型：バドミントン 運動スポーツの文化的特徴	スポーツと経済 ドーピングとスポーツ倫理	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実技テスト 定期考査 小テスト レポート		定期考査 小テスト レポート ワークシート	小テスト レポート 授業に取り組む姿勢 振り返りシート	
備考					

教科	保健体育	年次	2年次	系列	
科目名	体育 (単位数： 3)				
履修条件	必履修科目				
対象生徒	2年次生				
学習目的	健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に応じた運動の計画を立て、生涯を通じて運動を継続する力を養う。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 体育実技 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	「体づくり運動」 選択Ⅰ 「球技」 「体育理論」	集団行動・新体力テスト ハンドボール 硬式テニス 運動・スポーツの学び方	体育理論 1. 技術と戦術・戦略 2. 技能と体力	
	2学期	選択Ⅱ 「球技・武道」 「陸上競技」 「球技」 「体育理論」	ソフトボール/バレーボール/柔道 長距離走 サッカー/バレーボール 運動スポーツの文化的特徴	体育理論 3. 技能の上達過程と練習の考え方 4. 効果的な動きのメカニズム	
	3学期	選択Ⅲ 「球技」 「体育理論」	バスケットボール バドミントン 運動スポーツの文化的特徴	体育理論 5. 体カトレーニング 6. 運動やスポーツでの危険予知と安全確保	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実技テスト スポーツテスト 課題プリント レポート		ワークシート レポート 小テスト	授業中の取り組む姿勢 ワークシート 振り返りシート レポート	
備考					

教科	保健体育	年次	2年次	系列	
科目名	スポーツⅡ (単位数： 2)				
履修条件	特になし				
対象生徒	2年次で選択する生徒				
学習目的	球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、生涯を通じて球技に親しむ実践力を養う。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 体育実技、小テスト、レポート、振り返りシート 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	「球技」	ソフトボール ハンドボール	ベースボール型、ゴール型球技への多様な関わり方	
	2学期	「球技」	サッカー バドミントン	ゴール型、ネット型球技への多様な関わり方	
	3学期	「球技」	バレーボール バスケットボール	ネット型、ゴール型球技への多様な関わり方	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	実技テスト 小テスト レポート		小テスト レポート	授業中の取り組む姿勢 振り返りシート レポート	
備考					

教科	保健体育	年次	2年次	系列	
科目名	スポーツVI (単位数： 2)				
履修条件	特になし				
対象生徒	2年次で選択する生徒				
学習目的	各種トレーニングを実践し、心と体の両面を鍛える。形態測定や体力測定を定期的実施し成長を実感する				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 各種トレーニングの学習と実践、振り返り 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	「体づくり運動」 「体ほぐし運動」 「トレーニング実践」 「体育理論」	アイスブレイキング 柔軟性を高めるトレーニング 形態測定/体力測定 最大筋力計測 各種トレーニングの実践	体育理論 技能と体力 技能の上達過程と練習の 考え方 体力トレーニング	
	2学期	「体づくり運動」 「体ほぐし運動」 「トレーニング実践」 「体育理論」	ウォーミングアップメニュー考案 形態測定/体力測定 最大筋力計測 トレーニングメニュー考案 各種トレーニングの実践	体育理論 効果的な動きのメカニズ ム 運動やスポーツでの危険 予知と安全確保	
	3学期	「体づくり運動」 「体ほぐし運動」 「トレーニング実践」 「体育理論」	形態測定/体力測定 最大筋力計測 トレーニングメニュー考案 各種トレーニングの実践	体育理論 効果的な動きのメカニズ ム 運動やスポーツでの危険 予知と安全確保	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	トレーニングの実践結果 小テスト 課題プリント ワークシート		ワークシート レポート	授業中の取り組む姿勢 ワークシート 振り返りシート レポート	
備考					

教科	外国語	年次	1年次	系列	
科目名	英語コミュニケーションⅠ (単位数： 3)				
履修条件	必履修科目				
対象生徒	1年次生				
学習目的	①必要な情報を読み（聞き）取り，書き手（話し手）の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 ②基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 ALTによる英語活動 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	Pre-Lesson1, 2 Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4	自己紹介 世界の朝食からわかる特徴や相違 野生動物と観光のルール 職業の意義 絶景と自然界の奇跡	be動詞、一般動詞、現在形、過去形、進行形、助動詞、to不定詞	
	2学期	Lesson5 Lesson6 Lesson7 Lesson8	部活動を通して考える将来の夢 浮世絵と現代マンガの関連性 生きることの意味 ロボットの可能性	文型、動名詞、接続詞、受動態、比較表現、完了形	
	3学期	Lesson9 Lesson10	環境汚染の状況と海外の活動 戦後の沖縄とハワイの交流	分詞、関係代名詞、仮定法過去	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査 小テスト		定期考査 パフォーマンステスト	提出物 予習	
備考					

教科	商業	年次	2年次	系列	
科目名	ビジネススキル (単位数： 4)				
履修条件	特になし				
対象生徒	2年次で選択する生徒				
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスのさまざまな場面で活用する文書やプレゼンテーションの知識・技能を身につける。 ・企業活動を支えるソフトウェアを活用し、販売実習など実務で使用する電卓の基礎と売買計算を学び、社会で活躍する力や課題解決する力を身につける。 				
講義の割合					
講義以外の主な活動	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 </div> <p>その他の特徴的な活動【 PC・電卓を活用します 】</p>				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	社会人基礎力とは 企業活動とは 売買に関する計算 ビジネスで使う文書作成 I	<ul style="list-style-type: none"> ・組織や地域社会の中で多様な人々とともに仕事をする上で必要となる基礎的な能力について学ぶ。 ・ビジネスで活用する文書の基礎を学び校正記号を含むビジネス文書（案内状・社外文書等）を作成する。 ・電卓の基礎知識を学び、売買に関する計算とそのスキルを学ぶ。 	ビジネスマナー タッチタイピング 校正記号 漢字 電卓の基礎 外貨 度量衡 割合・単利・複利	
	2学期	売買に関する知識 実践的な取引 ビジネスで使う文書作成 II	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事「わだやマーケット」の案内状など、実務で扱う文書を作成する。 ・オンライン、メール上でのマナーを学ぶ。 ・販売実習に向けて、接客マナー・レジ対応（電卓）などの実践練習を行う。 ・礼状の作成（表・オブジェクト・校正記号・テキストファイルを含む文書について体裁を整えて作成する） 	漢字（3・4字熟語） 売買計算 手形割引 減価償却費 証券投資 複利年金	
	3学期	プレゼンテーション 企画書	アプリケーションを活用し、企業の企画書や体験した内容などを資料にまとめ、プレゼンテーションのスキルを学ぶ。 証券投資、経営分析を行い、起業するシミュレーションを行う。	プレゼンテーション パワーポイント	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	授業課題 定期考査		実技課題 定期考査	授業態度 リフレクションシート 提出物	
備考	資格取得（全商ビジネス文書実務検定1・2級、全商ビジネス計算実務検定1・2級）を目指す。				

教科	産業社会と人間	年次	1年次	系列	
科目名	産業社会と人間 (単位数： 2)				
履修条件	必修科目				
対象生徒	1年次生				
学習目的	自己理解をし、働くことの意味や価値、学ぶことの大切さを知り、考える力を身につける。				
講義の割合					
講義以外の主な活動	問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 その他の特徴的な活動【 発表会・外部講師からの講話 など 】				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	社会参画力	働くこととは 仕事の決め方 社会とのつながり お金のこと 就職(進学)するには 科目選択ガイダンス キャリアトークカフェ 企業見学	職業の三要素 生涯賃金 正規雇用と非正規雇用 賃金格差 退職金と福利厚生	
	2学期	販売実習基礎	販売実習とは お金の大切さとコミュニケーション 接客実践 マナー講習会 ロールプレイング	礼儀作法 販売実習 お金の取り扱い 接客	
	3学期	自己表現	資料作成 効果的なプレゼンの方法 1年間の振り返り まとめ 発表会	振り返り プレゼンテーション キーノート アウトプット	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	学習シート 発表資料		学習シート 振り返りシート	ワークシート 授業に臨む態度 プレゼンテーション	
備考	特になし				

教科	総合的な探究の時間	年次	2年次	系列	
科目名	総合的な探究の時間 (単位数： 2)				
履修条件	必履修科目				
対象生徒	2年次生				
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けたプロセスを計画し、目的に応じて準備することができる。 ・ある事象を分析し、目的や課題を明らかにすることができる。 ・自らの考えを論理的に表現することができる。 ・課題の発見や解決に向けて、主体的に考えて行動しようとする。 ・多様な意見を受け入れ尊重し、協働的に課題を解決しようとする。 				
講義の割合					
講義以外の主な活動	<p style="text-align: center;"> 問題演習 グループ学習 フィールドワーク 実習・実験 レポート作成 </p> <p style="text-align: center;">その他の特徴的な活動【プレゼンテーションや発表を行う】</p>				
授業の概要	学期	分野	学習内容	キーワード (一部抜粋)	
	1学期	課題探究基礎	テーマ設定 調査活動 発表資料作成 年次発表会	探究 問い 発表	
	2学期	販売実習応用	販売実習とは 地元企業調べ 接遇実践 マナー講習会 ロールプレイング	礼儀作法 販売実習 お金の取り扱い 接客	
	3学期	課題探究応用 次年度に向けて	朝来市の概況及び課題発見 わこうLab発表会参加 1年間の振り返り	朝来市 研究発表 アウトプット	
観点別 評価項目	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	授業態度 学習シート 発表スライドなどの成果物		学習シート プレゼンテーション 発表スライドなどの成果物	授業態度 提出物 プレゼンテーション	
備考					

令和3年度入学生 教育課程

教科	国語	科目名	現代文B	単位数	4
履修年次	3年次	履修条件	国語総合・現代文Aを履修した生徒		
進路	大学・短大・専門学校（医療系） その他学科試験が必要な学校、官公庁（公務員）受験者				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・国語総合・現代文Aを踏まえた上で、更に難易度の高い文章を読解する能力を身につける。 ・応用的な国語能力を身につける。 ・四字熟語や故事成語など国語の教養を身につける。 				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	随想Ⅰ 小説Ⅰ 評論Ⅰ 総合問題	<ul style="list-style-type: none"> ・随想の特徴に注意して読解できるようにする。 ・身近な話題の中にも筆者独特の感じ方・考え方があつたことを読み取る。 ・現代の短い小説から作品を味わう。 ・主人公の心理を丹念に追う。 ・評論の特徴に注意して読解できるようにする。 ・視点を交えることで思わぬ発見があつたことを知る。 ・ワークを使用して、知識問題を実施。 ・重要語の読み・書き、同訓異字、同音異義語（漢字検定2～3級中心）などを扱う 			
2 学 期	随想Ⅱ 小説Ⅱ 評論Ⅱ 評論Ⅲ 総合問題	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の思いを読み取り、身近な問題に置き換えて考える力を身に付ける。 ・「名作」を通じて小説の味わい方を学ぶ。 ・論理的な文章を読み取る力を身に付ける。 ・筆者の考えを的確に読み取ることが出来るようにする。 ・筆者の考えに対して自分自身の考えを深める。 ・評論文の読み方のまとめをする。 ・ワークを使用して、知識問題を実施。 ・重要語の読み・書き、同訓異字、同音異義語（漢字検定2～3級中心）などを扱う。 			
3 学 期	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習により実践的な国語力を身につける。 			
評 価 方 法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (15点)	②話す・聞く能力 (5点)	③書く・読む能力 (35点)	④知識・理解 (45点)	
	授業態度 5点 提出物 10点	授業中の発表 5点	定期考査 35点	定期考査 35点 小テスト 10点	
備 考	<ul style="list-style-type: none"> *定期的に小テストを実施し、取り組み状況の確認を行う。 *定期的にワーク・ノート・プリントの提出があつた。状況に応じて取組状況の確認を行う。 提出期限が守れない場合は減点する。 *副教材として、ワークを購入して、活用する。 				

教科	国語	科目名	応用現代文	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	国語総合を履修した生徒 2年次で応用現代文を履修していない生徒		
進路	大学・短大・専門学校（医療系） その他国語の学科試験のある学校				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 問題演習を通じて、国語の学科試験に対応する力をつける。 さまざまな考え方に触れて視野を広げる。 				
	単元名	学 習 内 容			
1学期	評論 小説 知識	<ul style="list-style-type: none"> 入試頻出漢字や語句を覚える。 評論の解き方を身につける。 小説の解き方を身につける。 熟語・慣用句など高校生として身に付けておくべき国語力の定着を図る。 			
2学期	評論 小説 知識・運用	<ul style="list-style-type: none"> 入試頻出漢字や語句を覚える。 評論の解き方を身につける。 小説の解き方を身につける。 対義語・敬語など高校生として身に付けておくべき国語力の定着を図る。 			
3学期	評論 小説 知識・運用	<ul style="list-style-type: none"> 知識の整理を中心とした問題演習を行う。 高校生として身に付けておくべき国語力の定着を図る。 類義語・同音異義語など高校生として身に付けておくべき国語力の定着を図る。 			
評価方法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (15点)	②話す・聞く能力 (5点)	③書く・読む能力 (40点)	④知識・理解 (40点)	
	授業態度 提出物	授業中の発表	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査	
備考	問題演習が中心である。この学習内容は、尚文出版『ライトパーフェクト演習』浜島書店『論読現代文1』を中心として行う。 提出物は期限を守る。授業内容は状況に応じて変わる場合がある。				

教科	国語	科目名	実践現代文	単位数	3
履修年次	3年次	履修条件	国語総合・現代文Aを履修した生徒		
進路	進学、就職				
学習目標	ワークでの長文読解を通じて読解力を向上させる。 また、解答作成力を磨く。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	実践力をつけよう	『ルート現代文1 改訂版』啓隆社を使用して、評論、小説をまんべんなく読解。 評論『ことわざのこころ』外山 滋比古 小説『セッちゃん』重松 清 随筆『父の詫び状』向田 邦子 など。 『テスト式国語常識の総演習』京都書房を使用して、知識問題を実施。 ・重要語の読み、書き ・慣用表現 ・近代短歌 などを扱う。			
2 学 期	実践力を向上させよう	『ルート現代文1 改訂版』啓隆社を使用して、評論、小説をまんべんなく読解。 評論『たいくつの美学』森 毅 小説『泥の河』宮本 輝 随筆『季節のかたみ』幸田文 など。 『テスト式国語常識の総演習』京都書房を使用して、知識問題を実施。 ・同音異義語 ・四字熟語 ・ことわざ などを扱う。			
3 学 期	実践力を完成させよう	『ルート現代文1 改訂版』啓隆社を使用して、評論、小説を読解。 評論『春の数えかた』日高 敏隆 小説『富岳百景』太宰 治 など。 『テスト式国語常識の総演習』京都書房を使用して、知識問題を実施。 ・対義語、類義語 などを扱う。 ・問題演習により実践的な国語力を身につける。			
評 価 方 法	観点別評価				
	① 関心・意欲・態度 (5点)	② 話す・聞く能力 (5点)	③読む・書く能力 (40点)	④知識・理解 (50点)	
	授業態度 5点	授業中の発表 5点	定期考査 40点	定期考査 40点 小テスト 10点	
備 考	ワークを購入。 この学習内容は『ルート現代文1 改訂版』啓隆社 『テスト式国語常識の総演習』京都書房 による。				

教科	国語	科目名	文学入門	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	特になし		
進路	特になし				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 文章の読み書きや問題演習、創作活動を通じて、文学を読み味わうための知識を増やし、読解力を向上させる。 日本文化の一端に触れ、和歌に親しみ、豊かな感性を育てる。 百人一首の鑑賞を通して、表現することのすばらしさを味わう。 				
	単元名	学 習 内 容			
1学期	基礎力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 文学作品などを読み、考えたことを書いて、適切な文章表現方法を身につける。 過去の入試問題を中心とした演習を通じて、正しい漢字の読みや熟語の意味などを理解する。 創作活動を通して、表現力を養う。 			
2学期	基礎力の完成 小倉百人一首	<ul style="list-style-type: none"> 文学作品などを読み、考えたことを書いて、適切な文章表現方法を身につける。 過去の入試問題を中心とした演習を通じて、正しい漢字の読みや熟語の意味などを理解する。 創作活動を通して、表現力を養う。 文法と修辞技巧を学ぶことにより、和歌の優れた技巧に触れる。 主題と歌意を通して、作者の意図を読み取る。 			
3学期	創作活動 小倉百人一首	<ul style="list-style-type: none"> 文法と修辞技巧を学ぶことにより、和歌の優れた技巧に触れる。 主題と歌意を通して、作者の意図を読み取る。 創作活動を通して、表現力を養う。 			
評価方法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (15点)	②話す・聞く能力 (5点)	③読む・書く能力 (40点)	④知識・理解 (40点)	
	授業態度 5点 提出物 10点	授業中の発表 5点	小テスト 10点 定期考査 30点	小テスト 10点 定期考査 30点	
備考					

教科	国語	科目名	国語表現	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	国語総合を履修した生徒		
進路	就職、進学				
学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	書いて伝える (1) 整った文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・表記と言葉・係り受け・文末表現の統一・適切な敬語・話し言葉と書き言葉など、整った文を書くための基礎を理解する。 			
	自己PRと面接 (1) 自分を見つめて (2) 効果的な自己PR (3) 面接にチャレンジ (4) 志望動機をまとめよう (5) 履歴書・志望理由書の書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などについて整理する。 ・事実やできごとをふまえて、自己PRを文章にまとめる。 ・進路面接の基本マナーを理解し、立ち居振る舞いや言葉遣いを確認し、ロールプレイングを行う。 ・目指す進路に向けて、志望動機を整理する。 ・自己の適性や意欲、進路先の特長などを踏まえて、履歴書・志望理由書を書く。 			
	書いて伝える (1) わかりやすい文を書く (2) 絵や写真を見て書く	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい文章にするために、適切な文の長さ、読点の打ち方を学ぶ。 ・あいまいな表現を避けるための練習をする。 ・絵や写真を言葉で説明することを通じて、客観的な表現を学ぶ。 			
2 学 期	自己PRと面接 (1) 面接の準備 (2) 将来の自分を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えできるようにロールプレイを行う。 ・質問に対して、具体的で説得力のある答え方を工夫する。 			
	小論文・レポート入門	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現後の生き方について考え、文章にする。 ・客観的な視点で物事を捉え、明快に伝える文章作成に取り組む。 			
	通信文を書き分ける	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を見るまなざしを育て、自分の意見を論理的に記述する。 ・社会で必要とされる書類・手紙などの文書を作成する方法を学ぶ。 			
3 学 期	書いて伝える (1) 文のつなぎ方	<ul style="list-style-type: none"> ・接続表現、文脈を考慮して、よりよく伝わる表現ができるように取り組む。 			
	社会人に必要な知識	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇マナーや、言葉遣いについて学ぶ。 			
評 価 方 法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (10点)	②話す・聞く能力 (20点)	③書く・読む能力 (45点)	④知識・理解 (25点)	
	授業態度 5点 授業中の発表 5点	設定課題 20点	定期考査 25点 設定課題 20点	定期考査 25点	
備考	・学習内容は、進度によって変わる場合がある。				

教科	地理歴史	科目名	郷土研究	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	2年次に履修していない生徒		
進路	就職、その他(進学希望者も可)				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・但馬を中心とした郷土に目をむけ、郷土に息吹く先人の思いを探訪し、地域の風土性に理解を深め、郷土のあり方と地域の活性化を考える力を養う。 ・地域への「誇り・愛着・自負心」を高め、連帯の心を身に着ける。 				
	単元名	学 習 内 容			
1 学期	但馬の方言 但馬の地理と自然 但馬の歴史 但馬の由来と伝説 但馬の原始・古代 但馬の中世	地域ごとの方言 但馬の地形(山・溪谷・谷・峠・川など) 但馬の気候・地域区分 アメノヒボコと田道間守 縄文・弥生の但馬、但馬の古墳 奈良・平安の但馬、国府と国分寺 但馬山名氏、戦国織豊時代の但馬			
2 学期	但馬の歴史 但馬の近世 但馬の近現代 但馬紹介 観光地・グルメ・ 遺跡など 但馬の偉人	但馬の諸藩と生野の変 近代日本に貢献した但馬人 既習のもの、興味のあるものについて調べ、発表を実施 大石りく 北垣国道・原六郎 斎藤隆夫 植村直己 森はな一『じろはったん』を読む			
3 学期	但馬の観光	但馬の地場産業 但馬の観光・町並み 現代但馬の課題			
評価 方法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (20点)	②思考・判断・表現 (30点)	③資料活用の技能 (20点)	④知識・理解 (30点)	
	授業態度・提出物 20点	定期考査 20点 提出物 10点	定期考査 20点	定期考査 30点	
備考					

教科	公民	科目名	現代の探求	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	現代社会を履修した生徒		
進路	すべての進路				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の現代社会の授業で重点的に学習していない分野を学習する。特に「世界の中の日本」を意識して、国際政治や国際経済の分野、現代社会の諸問題について学習していく。 ・人間としての在り方、生き方について多様な角度から考察できるように、自らが課題を設定し課題を探究し、進路実現のために必要な能力や小論文・作文を書く能力を身に付けていく。 				
	単元名	学 習 内 容			
1学期	1. 国際政治の動向と日本の役割 2. 現代の経済社会と私たちの生活(1)	国家主権と国際法 国際連合の役割 今日の国際社会 核兵器の廃絶と国際平和 国境と領土問題 地域紛争と人種・民族問題 外交政策と日本の役割 経済社会と経済体制 現代の企業 市場経済のしくみ 経済成長と景気変動			
2学期	2. 現代の経済社会と私たちの生活(2)	政府の経済的役割と租税の意義 金融機関のはたらき 戦後の日本経済の動き 産業構造の変化 雇用と労働問題 公害の防止と環境保全 消費者保護と契約 社会保障と国民福祉			
3学期	3. 国際経済の動向と日本の役割	国際経済のしくみと貿易の拡大 国際経済の動向 発展途上国の経済と南北問題 国際協調と日本の役割			
評価方法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (20点)	②思考・判断・表現 (30点)	③資料活用の技能 (20点)	④知識・理解 (30点)	
	授業態度・提出物 20点	定期考査 20点 提出物 10点	定期考査 20点	定期考査 30点	
備考					

教科	地理歴史	科目名	世界史 A	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	2年次で日本史Bを選択した生徒		
進路	すべての進路				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解する。 ・現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培う。 ・国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。 				
	単元名	学 習 内 容			
1 学期	前近代の諸文明 一体化に向かう世界	東アジアの文明、南アジアの文明、東南アジアの文明、西アジアの文明、ヨーロッパの文明、南北アメリカの文明 繁栄するアジア、大航海時代と新たな国家の形成			
2 学期	欧米の工業化とアジア諸国の動揺 現代社会の芽生えと世界大戦	ヨーロッパとアメリカの諸革命 自由主義・ナショナリズムの進展 アジア諸国の動揺、東アジアの大変動 第一次世界大戦がもたらしたもの 民族自決を求めて 経済危機から第二次世界大戦へ			
3 学期	冷戦から地球社会へ	冷たい戦争の時代 冷戦終結への道のり 地球社会への歩み 持続可能な社会をめざして			
評価 方法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (20点)	②思考・判断・表現 (30点)	③資料活用の技能 (20点)	④知識・理解 (30点)	
	授業態度・提出物 20点	定期考査 20点 提出物 10点	定期考査 20点	定期考査 30点	
備考	必履修科目				

教科	地理歴史	科目名	地理 A	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	「地理B」を履修していない生徒（ <u>地理Aと地理Bはどちらか1科目しか選択できない</u> ） 地図・世界の地域環境等に興味のある生徒		
進路	進学・就職にこだわらない。				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察する ・現代世界の地理的認識を養い、地理的な見方や考え方を培う ・国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う 				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	I 世界の諸地域の姿と地球的課題				
	1 地球儀からとらえる現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上の位置と国家 ・グローバル化が進む世界 			
	2 人間生活をとりまく環境	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活と地形 ・人々の生活と気候 ・人々の生活と産業・文化 			
	3 世界の諸地域の生活・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の生活・文化 ・韓国の生活・文化 ・東南アジアの生活・文化 ・南アジアの生活・文化 ・中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 			
2 学 期		<ul style="list-style-type: none"> ・サハラ以南のアフリカの生活・文化、ヨーロッパの生活・文化 ・ロシアの生活・文化、アングロアメリカの生活・文化 ・ラテンアメリカの生活・文化、オーストラリアの生活・文化 			
	4 地球的課題と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・複雑にからみ合う地球的課題、世界の環境問題 ・世界の資源・エネルギー問題、世界の人口問題 ・世界の食糧問題、世界の都市・居住問題 			
3 学 期	II 身近な地域の問題				
	1 身近にあるさまざまな地図	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地図とその特色、GISの仕組みと支える技術 目的に合わせた地図の作成 			
	2 日本の自然環境と防災	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の自然環境、地震災害と防災、火山災害と防災 風水害・雪害と防災、災害に備える 			
	3 身近な地域の課題と地域問題	<ul style="list-style-type: none"> ・調査テーマの設定、現地調査の実施と分析、調査結果のまとめと発表 			
評 価 方 法	観点別評価				
	① 関心・意欲・態度 (15点)	②思考・判断・表現 (30点)	③資料活用の技能 (25点)	④知識・理解 (30点)	
	態度・意欲・提出物 15点	定期考査 25点 提出物 5点	定期考査 20点 提出物 5点	定期考査 25点	小テスト 5点
備考					

教科	地理歴史	科目名	日本史 A	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	2年次で世界史Bを選択した生徒		
進路	すべての進路				
学習目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学期	近代国家の形成と国際関係の推移	<ul style="list-style-type: none"> ・近代への胎動 ・開国と幕末の動乱 ・近代国家の形成 ・国際関係の推移と近代産業の発展 			
2 学期	両大戦をめぐる国際情勢	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と日本 ・第二次世界大戦と日本 			
3 学期	現代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の再出発 ・独立後の政治と経済の発展 			
評 価 方 法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (20点)	②思考・判断・表現 (30点)	③資料活用の技能 (20点)	④知識・理解 (30点)	
	授業態度・提出物 20点	定期考査 20点 提出物 10点	定期考査 20点	定期考査 30点	
備考					

教科	地理歴史	科目名	日本文化史特講	単位数	3
履修年次	3年次	履修条件	2年次で日本史Bを履修している生徒		
進路	国公立・私立4年制大学 進学希望者				
学習目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学期	近代・現代 (1) 近代国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開国と幕末の動乱・明治維新と富国強兵 ・ 立憲国家の成立と日清戦争 ・ 日露戦争と国際関係 ・ 近代産業の発展 ・ 近代文化の発達 			
2 学期	(2) 二つの世界大戦と アジア (3) 占領下の日本 (4) 高度成長の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次世界大戦と日本 ・ ワシントン体制 ・ 市民文化の変容と大衆文化 ・ 恐慌の時代 ・ 軍部の台頭 ・ 第二次世界大戦 ・ 55年体制 ・ 経済復興から高度成長 ・ 経済大国への道 			
3 学期	(5) 激動する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷戦終結と日本社会の動揺 			
評 価 方 法	観点別評価				
	① 関心・意欲・態度 (15点)	② 思考・判断・表現 (30点)	③ 資料活用の技能 (15点)	④ 知識・理解 (40点)	
	授業態度・提出物 15点	定期考査 15点 提出物 15点	定期考査 15点	定期考査 40点	
備考	2年生の日本史Bに続いて、日本の通史の後半を学びます				

教科	公民	科目名	倫理	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	過去の偉人に学び、「善く生きる」ことの意味を考え、さらに自分の考え方をさまざまな思想に触れる中で、もう一度見つめなおそうとする姿勢がある生徒		
進路	特になし				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本・世界の歴史・文化を根底から支えている歴史的背景に触れながら学習するとともに、自己の生き方について考える。 ・混沌とする国際社会の中で、日本人と世界の人々とのものの考え方の相違の原点について考察する。 ・日常生活の中の疑問点に触れながら、その解明をする中で日本・世界の思想のおもしろさを再発見する。 				
	単元名	学 習 内 容			
1学期	1 青年期の課題と自己形成	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の意義 ・青年期の課題 			
	2 人間としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ギリシア思想 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教 ・中国思想 ・芸術と人生 			
2学期	3 日本人としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> ・古代日本人の思想 ・日本の仏教思想 ・近世日本の思想 ・西洋思想の受容と展開 			
	4 現代に生きる人間の倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳 ・科学技術と人間 ・民主社会と自由の実現 ・社会と個人 ・人間への新たな問い ・社会参加と幸福 			
3学期	5 現代の諸課題と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の倫理 ・環境の倫理 ・家族の課題 ・地域社会の課題 ・高度情報化社会の課題 ・文化と宗教の課題 ・国際平和と人類福祉の課題 			
評価方法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (20点)	②思考・判断・表現 (30点)	③資料活用の技能 (20点)	④知識・理解 (30点)	
	授業態度・提出物 20点	定期考査 20点 提出物 10点	定期考査 20点	定期考査 30点	
備考					

教科	公民	科目名	政治・経済	単位数	2
履修年次	2・3年次	履修条件	現代社会を履修した生徒		
進路	進学、就職問わない。政治・経済に興味・関心がある生徒 進学・就職試験における時事問題やそれをテーマとした小論文・質疑応答などに対応する。				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の現代社会をより発展させた内容を行い、政治・経済の基本的事項を学習し、グラフや統計資料を多角的な視点から分析できるように学習を進める。 ・自分の周りで起こる政治や経済の様々な問題を分かりやすく学習しながら、小論文や作文に必要な基礎知識を学習する。 				
	単元名	学 習 内 容			
1学期	1. 第1編 (1) 民主政治の基本原則と日本国憲法 (2) 現代の国際政治と日本 2. 第2編 (1) 経済社会の変容と経済のしくみ (2) 国民経済と国際経済	<ul style="list-style-type: none"> ・政治と社会 ・政治と国家 ・冷戦下の国際政治 ・緊張緩和と多極化 ・経済とは何か ・資本主義経済の特質 ・国際分業と貿易 ・自由貿易と保護貿易 ・国際収支 ・為替相場のしくみ 			
2学期	3. 第3編 (1) 現代日本の政治や経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな政府の持つ問題点 ・「小さな政府」への動き ・少子高齢社会 ・豊かな社会を目指して ・住民自治と地方自治 ・高度情報社会 ・自然環境の保全と経済発展 			
3学期	(2) 国際社会の政治や経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議における対立 ・持続可能な開発を目指して ・核兵器をめぐる現状 ・国際平和のために 			
評価方法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (20点)	②思考・判断・表現 (30点)	③資料活用の技能 (10点)	④知識・理解 (40点)	
	授業態度・提出物 20点	定期考査 20点 提出物 10点	定期考査 10点	定期考査 30点 小テスト 10点	
備考	2年次で単位を取得した人は3年次では取れません。				

教科	数学	科目名	数学 B	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	数学 I を履修している生徒		
進路	特になし				
学習目標	確率分布と統計的な推測、数列またはベクトルについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象の考察に活用することができる。				
	単元名	学習内容			
1学期	数列	等差数列と等比数列 いろいろな数列 漸化式と数列 数学的帰納法			
2学期	ベクトル	ベクトルとその演算 ベクトルの内積 空間座標とベクトル			
3学期	確率分布と統計的な推測	確率変数と確率分布 二項分布 正規分布 母集団と標本 統計的な推測の考え			
評価方法	◎観点別評価				
	観点	①関心・意欲・態度 (20点)	②数学的な見方・考え方 (20点)	③数学的な技能 (20点)	④知識・理解 (40点)
	内容	授業態度 10点 提出物 10点	定期考査 20点	小テスト 10点 定期考査 10点	小テスト 10点 定期考査 30点
	評価基準	数学的な見方や考え方のよさを認識し、事象の考察に活用しようとしている。 授業に積極的に参加し、課題に取り組んでいる。	数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考察し、表現するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考える。	事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する。	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
	提出物は、授業ノート、ワーク等の評価する。				
備考					

教科	数学	科目名	応用数学	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	数学Ⅰ・数学Aを履修している生徒		
進路	国公立大学、私立大経済系、情報系など				
学習目標	応用問題へチャレンジし、進学や就職に向けての入試問題にも対応できる数学力を身につける。				
	単元名	学 習 内 容			
1学期	数と式	式の計算 実数 1次不等式・絶対値			
	集合と論証	集合と論証			
	2次関数	2次関数とそのグラフ 2次方程式と2次不等式			
	図形と計量	鋭角の三角比 三角比の拡張 三角比への応用			
2学期	データの分析	データの整理と分析 データの相関			
	場合の数と確率	数え上げの原則 順列・組合せ 確率とその基本的な法則 独立な試行と確率 条件付き確率			
	図形の性質	平面図形 空間図形			
3学期	問題演習	総合問題にチャレンジ			
評価方法	◎観点別評価				
	観点	①関心・意欲・態度 (20点)	②数学的な見方・考え方 (20点)	③数学的な技能 (20点)	④知識・理解 (40点)
	内容	授業態度 10点 提出物 10点	定期考査 20点	小テスト 10点 定期考査 10点	小テスト 10点 定期考査 30点
	評価 規 準	数学的な見方や考え方のよさを認識し、事象の考察に活用しようとしている。 授業に積極的に参加し、課題に取り組んでいる。	数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考察し、表現するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考える。	事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する。	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
	提出物は、ワーク「チェックノート数学Ⅰ+A」等々を評価する。				
備考	教科書はありませんが、ワーク「チェックノート数学Ⅰ+A」を購入する必要あり				

教科	数学	科目名	実用数学B	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	数学Aを履修している生徒が望ましい		
進路	専門学校、大学校、就職など				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会活動に応じた課題を正確に処理するために必要な数学技能を身につける。 専門学校や大学校、就職試験の数学に対応する数学力を身につける。 				
	単元名	学 習 内 容			
1学期	数の計算 整式 乗法公式・因数分解 1・2次方程式 1次不等式 2次関数・グラフ 2次不等式	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本的な問題演習を行う。 四則演算、小数の計算、分数の計算など高校数学に必要な知識の復習をする。 教科書レベルの数学I、数学Aの定着を図る為に問題演習を行う。 			
2学期	三角比 場合の数 順列・組合せ 確率 応用問題	<ul style="list-style-type: none"> 教科書レベルの数学I、数学Aの定着を図る為に問題演習を行う。 但馬技術大学校、トヨタなど自動車関係の専門学校、医療関係の専門学校の過去問題を中心に生徒の進路にあった問題を選択し、学習を進める。 就職試験の数学の問題も扱う。 			
3学期	応用問題				
評価方法	◎観点別評価				
	観点	①関心・意欲・態度 (20点)	②数学的な見方・考え方 (20点)	③数学的な技能 (20点)	④知識・理解 (40点)
	内容	授業態度 10点 提出物 10点	定期考査 20点	小テスト 10点 定期考査 10点	小テスト 10点 定期考査 30点
	評価 規 準	数学的な見方や考え方のよさを認識し、事象の考察に活用しようとしている。 授業に積極的に参加し、課題に取り組んでいる。	数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考察し、表現するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考える。	事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する。	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
	提出物は「テスト式就職数学 数学I・A」等々を評価する。				
備考	教科書はありませんが、ワーク「テスト式就職数学 数学I・A」を購入する必要あり				

教科	数学	科目名	数学 A	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	特になし		
進路	特になし				
学習目標	場合の数と確率、整数の性質または図形の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象の考察に活用することができる。				
	単元名	学 習 内 容			
1学期	場合の数と確率	数え上げの原則 順列・組合せ 確率とその基本的な法則 独立な試行と確率 条件付き確率			
2学期	図形の性質	三角形の性質 円の性質 空間図形			
3学期	整数の性質	約数と倍数 ユークリッドの互除法 整数の性質の活用			
評価方法	◎観点別評価				
	観点	①関心・意欲・態度 (20点)	②数学的な見方・考え方 (20点)	③数学的な技能 (20点)	④知識・理解 (40点)
	内容	授業態度 10点 提出物 10点	定期考査 20点	小テスト 10点 定期考査 10点	小テスト 10点 定期考査 30点
	評価標準	数学的な見方や考え方のよさを認識し、事象の考察に活用しようとしている。 授業に積極的に参加し、課題に取り組んでいる。	数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考察し、表現するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考える。	事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する。	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
	提出物は、授業ノート、ワーク等を評価する。				
備考					

教科	数学	科目名	基本数学	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	特になし		
進路	進学(大学以外)、就職				
学習目標	1年次に学習した数学Ⅰの復習を中心に、再度基礎・基本の徹底を図る。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	数と式	① 式の計算 → 整式の加減乗除、因数分解 ② 実数 → 実数、根号を含む式の計算 ③ 1次不等式 → 不等式の性質、1次不等式の応用			
	集合と論証	① 集合 → 集合 ② 集合と論証 → 命題と条件、論証			
2 学 期	2次関数	① 2次関数とそのグラフ → 2次関数 2次関数の最大・最小 2次関数の決定 ② 2次方程式と2次不等式 → 2次方程式 グラフとx軸の共有点 2次不等式 2次不等式の応用			
	図形と計量	① 鋭角の三角比 → 直角三角形と三角比、直角三角形の辺と角、 三角比の相互関係 ② 三角比の拡張 → 三角比と座標・性質			
3 学 期	データの分析	③ 三角比への応用 → 正弦定理、余弦定理、面積、空間図形の計量 ① データの整理と分析 → データの整理・代表値・ちらばり ② データの相関 → 相関 相関係数			
評 価 方 法	◎観点別評価				
	観 点	①関心・意欲・態度 (20点)	②数学的な見方・考え方 (20点)	③数学的な技能 (20点)	④知識・理解 (40点)
	内 容	授業態度 10点 提出物 10点	定期考査 20点	定期考査 10点 小テスト 10点	定期考査 30点 小テスト 10点
	評 価 規 準	数学的な見方や考え方のよさを認識し、事象の考察に活用しようとしている。 授業に積極的に参加し、課題に取り組んでいる。	数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考察し、表現するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考える。	事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する。	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
	提出物は「Study-Upノート数学Ⅰ」等々を評価する。				
備考	教科書はありませんが、ワーク「Study-Upノート数学Ⅰ」を購入する必要あり				

教科	数学	科目名	実用数学 A	単位数	3
履修年次	3年次	履修条件	特になし		
進路	情報系・商業系への大学進学				
学習目標	・進学後に必要となる知識を身に付ける。 ・数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Bの内容から以下の内容を重点的に学習する。				
	単元名	学 習 内 容			
1学期	基本的な計算	1次関数 2次関数 指数・対数			
	微分と積分	微分係数と導関数 積分			
	数列	等差数列と等比数列 いろいろな数列			
2学期	ベクトル	ベクトルとその演算 ベクトルの内積 空間座標とベクトル			
3学期	まとめ	問題演習			
評価方法	◎観点別評価				
	観点	①関心・意欲・態度 (20点)	②数学的な見方・考え方 (20点)	③数学的な技能 (20点)	④知識・理解 (40点)
	内容	授業態度 10点 提出物 10点	定期考査 20点	定期考査 10点 小テスト 10点	定期考査 30点 小テスト 10点
	評価 規 準	数学的な見方や考え方のよさを認識し、事象の考察に活用しようとしている。 授業に積極的に参加し、課題に取り組んでいる。	数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考察し、表現するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考える。	事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する。	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。
提出物は「ニュージャスト数学ⅡB」等を評価する。					
備考	教科書はありませんが、ワーク「ニュージャスト数学ⅡB」を購入する必要あり				

教科	理科	科目名	生物	単位数	4	上限人数	20
履修年次	3年次	履修条件	特になし				
進路	進学予定者						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 「生物基礎」との関連を図りながら、生物や生物現象をさらに広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身につける。 生物学の基本的な概念・法則の理解を深めさせ、科学的な自然観を育てる。 観察・実験を通して自然を科学的に探究する能力を育てる。 命の営みを学習することで生命に対する畏敬の念を育て、生命を尊重する精神を養う。 						
	単元名	学習内容					
1学期	5編 生態と環境 1章 個体群と生物群集 2章 生態系の物質生産とエネルギーの流れ 3章 生態系と生物多様性 6編 生物の進化と系統 1章 生命の起源と生物の変遷 2章 進化のしくみ 3章 生物の系統	：個体群と環境、個体群の構造と成長、生物群集の成り立ちと多種の共存食物網と物質生産、生態系の構造とエネルギーの流れ 生物多様性とその意味、生物多様性を減少させる要因 ： 生命の起源、生物の変遷、人類の変遷 進化とは、生物の個体間の変異とその起源、種分化、共進化 生物の系統、生物の世界の3ドメイン、生物の系統のまとめ					
2学期	3編 生殖と発生 1章 生物の生殖と配偶子の形成 2章 動物の発生 3章 動物の発生のしくみ 4章 発生をつかさどる遺伝子 5章 植物の発生 4編 生物の環境応答 1章 動物の刺激の受容と反応 2章 動物の行動 3章 植物の環境応答	・ 有性生殖、減数分裂によってもたらされる遺伝的多様性、遺伝子の連鎖と組み換え 動物の配偶子形成、受精、動物の初期発生の概略、カエルの発生、ウニの発生 背側の決定、中胚葉誘導、形成体と誘導、誘導の連鎖 ショウジョウバエの発生、動物の発生とホックス遺伝子 被子植物の生殖、被子植物の器官分化 ： 刺激の受容から反応への情報の流れ、ニューロンの性質と興奮のしくみ 動物の行動をめぐる4つの「なぜ」、動物の行動の例 環境に応じた植物の一生と植物ホルモン、環境要因による発芽の調節					
3学期	1編 生命現象と物質 1章 生体物質と細胞 2章 生命現象を支えるタンパク質 3章 代謝とエネルギー 2編 遺伝子のはたらき 1章 遺伝情報の発現 2章 遺伝子の発現調節 3章 バイオテクノロジー	：細胞小器官、生体膜のはたらきと構造、細胞骨格のはたらき 生命現象とタンパク質、タンパク質の立体構造とはたらき エネルギー変化と化学反応、呼吸、光合成、化学合成 ： 遺伝情報の流れ、DNAの複製、遺伝情報の転写、遺伝情報の翻訳 転写開始の調節 目的の遺伝子を増やす、遺伝子の情報を読む、遺伝子を細胞に導入する					
評価方法	観点別評価						
	① 関心・意欲・態度 (16点)	② 思考・判断・表現 (8点)	③ 観察・実験の技能 (8点)	④ 知識・理解 (68点)			
	ノート 4点 レポート 4点 小テスト 4点 授業態度 4点	レポート 4点 小テスト 4点	ノート 4点 レポート 4点	小テスト 4点 授業態度 4点 考査 60点			
備考	特になし						

教科	理科	科目名	物理基礎	単位数	2	上限人数	
履修年次	3年次	履修条件	特になし				
進路	理工系、看護医療系、工業系の専門学校進学希望者および製造業への就職希望者						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・物体の運動など、身近な物理現象やエネルギーへの関心を高める。 ・物理学の基本的な概念や原理・法則を理解する。 ・身近に見られる物理現象の背後に原理・法則が存在することを理解し、それらを日常生活や社会の中で活用する能力と態度を養う。 						
	単元名		学習内容				
1学期	第1編 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の表し方 第2章 運動の法則		<ul style="list-style-type: none"> ・主に直線上を動く物体の運動を正確に表す方法について学ぶ。内容は、速度、加速度、落体の運動等である。 ・いろいろな力の性質を学ぶとともに、力がはたらいた場合の物体の運動の変化の様子を調べる。内容は、力とそのはたらき、つりあい、運動の法則等である。 				
2学期	第3章 仕事と力学的エネルギー 科学の研究の進め方 第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 第3編 波 第1章 波の性質 第2章 音		<ul style="list-style-type: none"> ・仕事、力学的エネルギーについて学び、力学的エネルギーが保存されることを中心に学習する。内容は、仕事、各エネルギー、力学的エネルギーである。 ・熱の本質を知り、エネルギーとの関係を学ぶ。内容は、熱と熱量、熱と仕事、熱機関等である。 ・波とは何か、その伝わる方などを学び、波の性質を学ぶ。 ・音の伝わり方や性質を学ぶ。 				
3学期	第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗 第2章 磁場と交流 第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーとその利用 第2章 物理学が拓く世界		<ul style="list-style-type: none"> ・静電気や電流など、電気に関わる法則を学習し、さらに発電機や電磁波について学ぶ。内容は、電気の性質、電流と電気抵抗等である。 ・電磁誘導や交流、電磁波について学ぶ。内容は、電流と磁場、交流等である。 ・上記の関連項目と関係付けて説明をします。 ・人類が利用することができる各種エネルギーの特性や利用について学ぶ。 ・物理基礎で学んだことが日常生活や科学技術と結びついていることを学ぶ。 				
評価方法	観点別評価						
	① 関心・意欲・態度 (25点)		② 思考・判断・表現 (30点)		③ 観察・実験の技能 (15点)		④ 知識・理解 (30点)
	報告書 5点 授業態度 10点 ノート 10点	報告書 10点 考査 20点	実験実習 5点 考査 10点	考査 30点			
備考	演習問題で授業内容をしっかり理解することが大切です。そのためには、自ら取り組む姿勢を大切にすることです。また、提出物は提出期限を厳守してください。						

教科	理科	科目名	地学基礎	単位数	2	上限人数	
履修年次	3年次	履修条件	特になし				
進路	すべての進路に対応している						
学習目標	<p>日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変動する地球についてビデオなどを通して探究し、地球がプレートの運動などによって変動してきたことを理解する。 ・宇宙の誕生と地球の形成についてビデオなどを通して探究し、宇宙と惑星としての地球の特徴を理解させる。 						
	単元名		学習内容				
1学期	第2章 活動する地球 第1節 地球の姿 第2節 火山活動と地震		<ul style="list-style-type: none"> ・地球の概観について学び、その内部構造について理解する。内容は、地球の形と大きさ、内部構造、構成物質、プレート運動等である。 ・プレートと地球の活動について理解し、地震や火山活動、火成岩の形成について学ぶ。内容は、火山の分布、地形、噴火と火成岩、その種類、地震の発生等である。 				
2学期	第3章 移り変わる地球 第1節 地層や岩石と地質構造 第2節 地球環境と生物界の変遷 第4章 大気と海洋 第1節 地球の熱収支 第2節 大気と海洋の運動		<ul style="list-style-type: none"> ・地層と地質構造について学び、地球の歴史の組み立てについて理解する。生命の変遷について学ぶ。内容は、地層の形成、堆積構造、堆積岩、変成岩、化石、地質時代等である。 ・大気圏について理解し、地球全体のエネルギー収支について理解する。日本の気象、地球環境に及ぼす人間活動の影響について学ぶ。内容は、大気圏の構成、大気圏の特徴、循環等である。 				
3学期	第1章 宇宙における地球 第1節 宇宙の構成 第2節 太陽 第3節 太陽系の中の地球 第5章 地球の環境 第1節 地球環境の科学 第2節 日本の自然環境		<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系の誕生について理解し、太陽系の天体について学ぶ。太陽の誕生と進化を理解する。内容は、宇宙の始まり、広がり、太陽の構造、組織、太陽系の構造、誕生、惑星・衛星等である。 ・第1章～第4章の中で関連する項目を取り扱う。 				
評価方法	観点別評価						
	① 関心・意欲・態度 (25点)		② 思考・判断・表現 (30点)		③ 観察・実験の技能 (15点)		④ 知識・理解 (30点)
	報告書 5点 授業態度 10点 ノート 10点	報告書 10点 考査 20点	実習 5点 考査 10点	考査 30点			
備考	演習問題で授業内容をしっかり理解することが大切です。そのためには、自ら取り組む姿勢を大切にすることです。また、提出物は提出期限を厳守してください。						

教科	理科	科目名	発展生物	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	特になし		
進路	4年制大学、専門学校（看護、医療、栄養）進学希望者				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 共通テスト「生物基礎」を解ける力を身につける。 2年次の「生物基礎」との関連を図りながら、生物や生物現象をさらに広範囲に取り扱い、生物学的に探究する能力と態度を身につける。 生物学の基本的な概念・法則を理解した上で問題演習を行い、入試に必要な生物の知識・多彩な問題に対応できる知識を身につける。 				
	単元名	学習内容			
1学期	1 生態と環境 <ul style="list-style-type: none"> 個体群と生物群集 生態系と生物多様性 問題演習	個体群と環境、個体群の構造と成長、生物群集の成り立ちと多種の共存食物網と物質生産、生態系の構造とエネルギーの流れ 生物多様性とその意味、生物多様性を減少させる要因 共通テスト対策のための問題演習(生物基礎)			
2学期	2 生物の進化と系統 <ul style="list-style-type: none"> 生命の起源と生物の変遷 進化のしくみ 生物の系統 問題演習	生命の起源、生物の変遷、人類の変遷 進化とは、生物の個体間の変異とその起源、種分化、共進化 生物の系統、生物の世界の3ドメイン、生物の系統のまとめ 入試問題演習 <ul style="list-style-type: none"> 共通テストの過去問 4年制大学、看護医療専門学校等の過去問 			
3学期	問題演習	入試問題演習 <ul style="list-style-type: none"> 共通テストの過去問 4年制大学、看護医療専門学校等の過去問 			
評価方法	観点別評価				
	① 関心・意欲・態度 (16点)	② 思考・判断・表現 (8点)	③ 観察・実験の技能 (8点)	④ 知識・理解 (68点)	
	ノート 4点 レポート 4点 小テスト 4点 授業態度 4点	レポート 4点 小テスト 4点	ノート 4点 レポート 4点	小テスト 4点 授業態度 4点 考査 60点	
備考					

教科	体育	科目名	生涯スポーツ	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	意欲的に取り組める生徒	上限人数	男女各20
進路	特になし				
学習目標	ニュースポーツ、生涯スポーツ、野外活動、レクリエーションの領域の知識と技能を身につけるとともに、コミュニケーション能力の育成を目指し、リーダーシップを発揮することができる資質や能力を育てる。				
	単元名	学 習 内 容			
1学期	ニュースポーツ分野 生涯スポーツ分野 レクリエーション分野 野外活動分野	①ソフトバレーボール ②ターゲットゴルフ ③卓球 ④レクリエーション活動 ⑤野外自炊			
2学期		①インディアカ ②フライングディスク ③テニス ④指導法 ⑤野外レクリエーション			
3学期		①タッチラグビー ②フットサル ③バトミントン ④フォークダンス ⑤その他			
評価方法	観点別評価				
	①知識・技能 (20点)・(50点)	②思考力・判断力・表現力 (10点)	③学びに向かう力、人間性等 (20点)		
	定期考査 ワークシート 運動の実践による成果 (実技テスト)	定期考査 授業態度 ワークシート (課題設定・修正力、 課題解決力、 危機管理能力)	授業態度 (主体性、公正、協力、責任、 参画、共生、健康・安全)		
備考					

教科	体育	科目名	スポーツVI	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	意欲的に取り組める生徒	上限人数	20
進路	体育系学校への進学希望者、トレーニングに意欲関心のある生徒。				
学習目標	健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に応じた運動の計画をたて、生涯を通じて運動を継続する力を養う。				
	単元名	学 習 内 容			
1学期	体ほぐしの運動	オリエンテーション ストレッチ リズムカルな運動 疲労回復運動			
2学期	体力トレーニングの理論と実践	プル・トレーニング 最大筋力 週間頻度 筋肉優先法 種目間の筋肉反応と重量アップ セット間のインターバル 挙上テンポ 呼吸法 ベーシックプログラムⅠ ベーシックプログラムⅡ			
3学期	体力を高める運動	インターバルトレーニング（筋持久力を向上させる） レペティショントレーニング（瞬発力を向上させる） サーキットトレーニング（全身の筋力を効率よく向上させる） 有酸素トレーニング			
評価方法	観点別評価				
	①知識 ・ 技能 (20点)・(50点)	②思考力・判断力・表現力 (10点)	③学びに向かう力、人間性等 (20点)		
	定期考査 ワークシート 運動の実践による成果 (実技テスト)	定期考査 授業態度 ワークシート (課題設定・修正力、 課題解決力、 危機管理能力)	授業態度 (主体性、公正、協力、責任、 参画、共生、健康・安全)		
備考					

教科	体育	科目名	スポーツⅡ	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	意欲的に取り組める生徒	上限人数	男女各30
進路	特になし				
履修条件	球技について高度に学ぶ意欲のある者。				
学習目標	球技の特性についての理解と課題の解決を目指した計画的な運動の実践を通して、これらのスポーツの高度な技能と審判法を習得できるようにするとともに、生涯を通じて球技に親しむ実践力を養う。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・ソフトボール ・ハンドボール ・サッカー ・卓球 ・バドミントン 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・歴史・特性 ・個人的技能 ・集団的技能 			
2 学 期		<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール ・テニス ・バスケットボール 			
3 学 期		<ul style="list-style-type: none"> ・戦術 ・審判法 ・補強運動 ・技能を支えるトレーニング方法 ・応急処置法 			
評 価 方 法	観点別評価				
	①知識 ・ 技能 (20点)・(50点)	②思考力・判断力・表現力 (10点)	③学びに向かう力、人間性等 (20点)		
	定期考査 ワークシート 運動の実践による成果 (実技テスト)	定期考査 授業態度 ワークシート (課題設定・修正力、 課題解決力、 危機管理能力)	授業態度 (主体性、公正、協力、責任、 参画、共生、健康・安全)		
備考					

教科	体育	科目名	体育	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	必履修科目		
進路					
学習目標	・健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に応じた運動の計画をたて、生涯を通じて運動を継続する力を養う。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	「体づくり運動」	集団行動・新体力テスト			
	選択Ⅰ 「球技」	バスケットボール バレーボール バドミントン			
	選択Ⅱ 「球技」	ソフトボール ハンドボール 卓球			
	「体育理論」	【豊かなスポーツライフの設計】 1生涯スポーツの見方・考え方 2ライフスタイルに応じたスポーツ			
2 学 期	選択Ⅱ（継続） 「球技」	ソフトボール ハンドボール 卓球			
	「陸上競技」	長距離走			
	選択Ⅲ 「球技」 「ダンス」	サッカー バドミントン 現代的なリズムのダンス			
	「体育理論」	【豊かなスポーツライフの設計】 3日本のスポーツの振興 4スポーツと環境			
3 学 期	選択Ⅳ 「球技」 「ダンス」	バスケットボール バドミントン 卓球 現代的なリズムのダンス			
評 価 方 法	観点別評価				
	①知識 ・ 技能 (20点)・(50点)		②思考力・判断力・表現力 (10点)		③学びに向かう力、人間性等 (20点)
	定期考査 ワークシート 運動の実践による成果 (実技テスト)		定期考査 授業態度 ワークシート (課題設定・修正力、 課題解決力、 危機管理能力)		授業態度 (主体性、公正、協力、責任、 参画、共生、健康・安全)
備考					

教科	音楽	科目名	音楽Ⅲ	単位数	2	上限人数	20
履修年次	3年次	履修条件	2年次に音楽Ⅱを履修している生徒				
進路	音楽系の進学						
学習目標	多くの表現活動について深く探求し、感性を磨き、将来につながる豊かな感受性と能力を養う。						
	単元名		学 習 内 容				
1 学期	みんなで歌おう キーボード・アンサンブル 鑑賞 楽典		・「Imagine」 ・「Hey Jude」 ・「ぐるぐるピアノ」(3手連弾) ・オペラ「カルメン」 音名、音符の名称・種類と価値、拍子記号、調号と主音、音程				
2 学期	世界の愛唱歌 日本の歌 キーボード・アンサンブル 合唱の楽しみ		・「Greensleeves」(2部合唱) ・「Amazing Grace」(3部合唱) ・「森の夜明け」 ・「日本の詩情」(5重奏) ・「さびしいカシの木」(3部合唱)				
3 学期	鑑賞		・ミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』				
評価 方法	観点別評価						
	①音楽への関心・意欲・態度 (30点)		②音楽表現の創意工夫 (20点)		③音楽表現の技能 (30点)		④鑑賞の能力 (20点)
	授業態度 20点 歌唱・演奏意欲 10点	演奏・歌唱技術 20点	演奏課題 10点 定期考査 20点	定期考査 20点			
音楽に関する専門的な知識の習得を確認するため、授業中においても、実技、筆記試験等を実施し、評価の基礎材料とする。							
備考							

教科	音楽	科目名	ソルフェージュ	単位数	2	上限人数	20
履修年次	3年次	履修条件	特になし				
進路	音楽系の進学						
学習目標	「聴音」「視唱」「視奏」の内容をそれぞれ関連付け、音楽的に表現するための基本的能力を養う。また、多方面から音楽に取り組むことにより、音楽活動の総合的基礎能力を身に付け、各自の希望進路に必要な技能と、将来役立つと思われる技能を修得する。						
	単元名	学 習 内 容					
1学期	C dur (4・8小節) ・4/4 拍子 ・4/2 拍子 ・4/3 拍子 総合課題・小テスト	一声・二声リズム課題 リズムつき視唱・視奏・聴音 ・完全1度～長3度音程(ド、レ、ミ、ファ、ドレ、ドレミ) ・4分・8分音符、4分休符 ・完全1～完全5度音程(ファ、ソ、ドレミファ、ドレミファソ) ・長・短2～3度音程					
2学期	・長い音符、休符 ・6/8 拍子 ・臨時記号(＃、b、♮) 短調の旋律	・2分、付点2分、全音符・休符 ・長・短2～完全4度音程・短2度のある5度の間をうごく旋律 ・付点4分音符 ・タイ、シンコペーション ・アウフタクト ・調号なし(a moll)					
3学期	調号のついた旋律 ・総合課題	・＃1つ(G dur/e moll) ・b1つ(F dur/g moll)					
評価方法	観点別評価						
	①関心・意欲・態度 (30点)	②発想や構想の能力 (20点)	③創造的な技能 (30点)	④鑑賞の能力 (20点)			
	授業態度 20点 歌唱意欲 10点	歌唱技術 20点	実技課題 30点	レポート 20点			
	音楽、声楽に関する基礎的な技術の習得を定期的に確認し、それを主材料として評価する。また、音楽性豊かな表現能力を大切に評価する。						
備考							

教科	外国語	科目名	異文化理解	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	3年次で選択する生徒（国内外の文化に興味・関心を持ち、学んだり調べたりしたことを英語で表現しようとするのが望ましい）		
進路	進学・就職希望者				
学習目標	・英語の学習を通して自国及び世界の人々の日常生活、風俗習慣、歴史、伝統文化について理解を深め、これらを尊重する態度を育てる。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	外国について知る	海外文化について、食生活・スポーツ・芸術・観光等のカテゴリ別に学習する。 授業で扱った内容と関連する題材を用いて学習内容を深める ・ <i>Kimetsu no Yaiba</i> Became a Big Hit ・ Food Culture in China （パフォーマンステスト） ・ ディベート…チームに分かれ、好きなアニメについて討論する ・ エッセイ…興味がある外国の食文化について調べ、原稿を作成する。			
2 学 期	日本の文化を紹介する 日本と外国の比較	世界に知ってほしい日本の文化についてアイデアを挙げ、調べ学習を行う。また、その文化を実際に英語で紹介する場面を想定し、課題を作成する。 1、2学期に学んだことから、最も興味深いと感じた日本と外国の文化の違いを1つ挙げ、それについてレポート・発表資料を作成する。			
3 学 期	1、2学期のまとめ	発表 （パフォーマンステスト） 2学期で作成したレポート・発表資料をもとに発表をする。			
評 価 方 法	観点別評価				
	① 関心・意欲・態度 (20点)	② 外国語表現の能力 (20点)	③ 外国語理解の能力 (20点)	④ 言語や文化についての知識・理解 (40点)	
	提出物 10点 発表 10点	定期考査 10点 発表 10点	定期考査 20点	定期考査 20点 レポート 20点	
備考	英語の科目であり、英文を扱うことを理解したうえで受講すること。				

教科	外国語	科目名	英語会話	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	3年次に選択する生徒（積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒）		
進路	すべての進路に対応				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーキング活動を通じた実践的コミュニケーション能力を培う。 ・発表を通じて表現力を高める。 ・ALTと英語で情報交換や意思疎通する力を培う。 				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	Lesson 1	Nice to meet you	(自分や友達を紹介する)		
	Lesson 2	Hello, Friends!	(自分や友達を紹介する)		
	Lesson 3	My favourite music	(好きなことについて話し合う)		
	Lesson 4	What are you crazy about?	(好きなことについて話し合う)		
2 学 期	Lesson 5	A Friendly Potluck Dinner	(食べ物や健康について話し合う)		
	Lesson 6	Are you all right?	(食べ物や健康について話し合う)		
	Lesson 7	Talking about our town	(自分の住む街と伝統文化について話し合う)		
	Lesson 8	Traditional culture	(自分の住む街と伝統文化について話し合う)		
3 学 期	Lesson 9	Equal Roles	(自分たちと地球の将来について話し合う)		
	Lesson 10	Helping each other	(自分たちと地球の将来について話し合う)		
評 価 方 法	観点別評価				
	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (10点)	②外国語表現の能力 (20点)	③外国語理解の能力 (40点)	④言語や文化についての知識・理解 (30点)	
	会話テスト 20点	パフォーマンステスト 10点 スピーキングテスト 10点	リスニングテスト 20点 考査 20点	考査 30点	
備考	週単位のうち1単位はALTの授業				

教科	英語	科目名	総合英語	単位数	4
履修年次	3年次	履修条件	2年次にコミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰを履修した生徒		
進路	すべての進路に対応する。資格取得に意欲があるものが望ましい。				
学習目標	・2年次までに身につけた英語力を発展させ、実用英語技能検定準2級以上、全商英語検定試験1級の合格を目指す。				
	単元名	学 習 内 容			
1学期	全商英検2級 演習問題	<p>演習</p> <p>Part1 Listening・Speaking (アクセント・英問英答・聞き方〔絵と対話文・短文・内容一致・会話文〕)</p> <p>Part2 Reading (長文・会話文)</p> <p>Part3 Writing (適語選択・語形変化・語順整序)</p> <p><u>*第1回実用英語技能検定(6月)</u></p>			
2学期	全商英検1級・ 実用英検 演習問題	<p>演習</p> <p>全商英検、実用英語技能検定等の演習を中心に行う</p> <p><u>*第1回全商英語検定試験(9月)</u></p> <p><u>*第2回実用英語技能検定(10月)</u></p> <p><u>*第2回全商英語検定試験(12月)</u></p>			
3学期	演習問題	<p>演習</p> <p>資格試験等の演習を中心に行う</p> <p><u>*第3回実用英語技能検定(1月)</u></p>			
評価方法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (30点)	②外国語表現の能力 (20点)	③外国語理解の能力 (30点)	④言語や文化についての 知識・理解 (20点)	
	提出物 10点 小テスト 20点	定期考査 20点	パフォーマンステスト 10点 定期考査 20点	定期考査 20点	
備考	教科書はありませんが、問題集等を購入する必要があります。				

教科	外国語	科目名	英文読解	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	特になし		
進路	すべての進路に対応する				
学習目標	・「コミュニケーション英語Ⅱ」で身につけた英語力を発展させ、進学・就職のどちらに対しても対応できる総合的な英語の学力をつける。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	Lesson 11 Lesson 1 Lesson 2 Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5 Lesson 6 Lesson 7	Why Is Spring the Worst? My Family The Cardboard Box Part-time Jobs The Nanaimo Summer Fest A Day Trip to Monkey Mia Beach Charles Shults Alan' s Diary: My New Years Goal			
2 学 期	Lesson 8 Lesson 9 Lesson 10 Lesson 12 Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15 Lesson 16 Lesson 17	Osechi Painting the Bathroom The Hot Dog Eating Contest In New York A Super Day A Thank You Letter Why Don' t We Go Out? My Favorite Time of The Day On Top of The World Swimming Class			
3 学 期	Lesson 18 Lesson 19 Lesson 20	Pet Grooming Advice Busy at Night			
評 価 方 法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (20点)	②外国語表現の能力 (30点)	③外国語理解の能力 (30点)	④言語や文化についての 知識・理解 (20点)	
	提出物 10点 言語活動 10点	定期考査 30点	小テスト 10点 定期考査 20点	定期考査 20点	
備考	教科書はありませんが、ワークを購入する必要あり。				

教科	外国語	科目名	英語理解	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	2年次に英語表現Ⅰを修得している生徒		
進路	看護・医療、4年制大学進学希望者				
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 2年次に学んだ英文法の知識を定着させると共に、英文を素早く正確に理解する力を養う。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	Lesson 1	文の種類			
	Lesson 2	文型			
	Lesson 3	時制			
	Lesson 4	完了形			
	Lesson 5	助動詞			
	Lesson 6	受動態			
	Lesson 7	不定詞(1)			
	Lesson 8	不定詞(2)			
	Lesson 9	不定詞(3)			
	Lesson 10	動名詞			
	Lesson 11	分詞			
	Lesson 12	不定詞・動名詞・分詞			
2 学 期	Lesson 13	比較(1)			
	Lesson 14	比較(2)			
	Lesson 15	関係代名詞(1)			
	Lesson 16	関係代名詞(2)			
	Lesson 17	関係副詞			
	Lesson 18	仮定法			
	Lesson 19	時制の一致・話法			
	Lesson 20	名詞・冠詞			
	Lesson 21	代名詞			
	Lesson 22	形容詞・副詞			
	Lesson 23	前置詞・群前置詞			
	Lesson 24	接続詞(1)			
3 学 期	Lesson 25	接続詞(2)			
	Lesson 26	否定			
	Lesson 27	特殊構文			
評 価 方 法	観点別評価				
	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (20点)	②外国語表現の能力 (30点)	③外国語理解の能力 (30点)	④言語や文化についての知識・理解 (20点)	
	提出物 10点 課題 10点	定期考査 20点 小テスト 10点	定期考査 20点 小テスト 10点	定期考査 20点	
備考	投げ込み教材として、短い英文の新聞記事を使用する。				

教科	英語	科目名	英語表現Ⅱ	単位数	4	
履修年次	3年次	履修条件	2年次で英語表現Ⅰを履修した生徒			
進路	看護・医療、4年制大学進学希望者					
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。					
	単元名	学 習 内 容				
1 学 期	Part1 Lesson 1	主語の決定 / 見えない主語の発見 / 主語のit 主語になる名詞句 / 形式主語 / 無生物主語				
	Lesson2	自動詞と他動詞 / 文型				
	Lesson3	使役動詞 / 知覚動詞 (動詞+0+to do)				
	Lesson4	現在形 / 現在進行形 / 過去形 / 過去進行形				
	Lesson5	義務・必要を表す助動詞 / 推量を表す助動詞 仮定法				
2 学 期	Lesson6	名詞を前から修飾する語句 / 名詞を後ろから修飾する語句 関係代名詞 / 関係副詞				
	Lesson7	副詞・副詞句 / 不定詞や分詞を使った副詞句 副詞節				
	Lesson8	原級 / 比較級 最上級 / 最上級の意味を表す表現				
	Activity 1	Storytelling				
	Activity 2	Role-Playing				
	Activity 3	Listening for Numbers				
	Activity 4 Activity 5	Writing an Email Reading Graphs				
Part2 Lesson1	パラグラフの構成 / 列挙・順序					
3 学 期	Lesson2	例示・追加				
	Lesson3	比較・対照				
	Lesson4	原因・理由・結果				
	Lesson5	要点・要約				
	評 価 方 法	観点別評価				
①関心・意欲・態度 (20点)		②外国語表現の能力 (30点)		③外国語理解の能力 (30点)		
④言語や文化についての 知識・理解 (20点)						
	提出物 レポート	10点 10点	定期考査 パフォーマンステスト	20点 10点	定期考査 小テスト	20点 10点
備考	ラーナーズ高校英語(参考書)も使用					

教科	家庭	科目名	ファッション造形	単位数	2	上限人数	20	
履修年次	3年次	履修条件	ファッション造形基礎を履修した生徒 (被服製作検定3級を取得していることが望ましい)					
進路	服飾・デザイン系への進学希望者・服飾関係の就職希望者							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 被服構成の基礎、構成技法など被服に関する知識と技術を習得し、ファッション製品を創造的に製作する能力と態度を育てる。 家庭科技術検定(被服製作)和服2級の取得を目指す。 							
	単元名	学 習 内 容						
1 学期	ファッション造形の要素 和服の製作	立体構成と平面構成 衣服素材の種類 平面構成の衣服 「家庭科技術検定和服2級：じんべい」の取り組み						
2 学期	洋服の製作 応用作品の製作 応用作品の製作	立体構成の衣服・デザインについて 基礎基本を取り入れた応用作品「シャツ」の製作 ・パターンの製作 ・裁断 ・縫製・補正 基礎基本を取り入れた応用作品の製作 ・ボトムの製作						
3 学期	応用作品の製作	基礎基本を取り入れた応用作品の製作 ・ボトムの製作						
評価 方法	観点別評価							
	①関心・意欲・態度 (15点)		②思考・判断・表現 (5点)		③技能 (40点)		④知識・理解 (40点)	
	授業態度 提出物	5点 10点	定期考査	5点	技術の習得	40点	定期考査	40点
備考	全ての作品が提出されていることが単位修得の条件となる。							

教科	家庭	科目名	子ども文化	単位数	2	上限人数	15
履修年次	3年次	履修条件	子どもの発達と保育を履修している生徒が望ましい				
進路	保育・福祉系への進学						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財に関する知識と技術を習得させ、子ども文化の充実を図る能力と態度を培う。 ふれあい育児体験を通して子どもと交流し、学習したことを実践する。 						
	単元名	学 習 内 容					
1学期	子ども文化とは何だろう	①子ども文化とは ②子ども文化を歴史から見る →子ども文化の誕生 子ども文化の展開 子ども文化の近代・現代					
	子どもと遊び	①あそびと発達 ②遊びの現状 ③遊びと遊具・玩具 ④遊びと伝承					
	子ども文化実習	①子どもと関わる前に ②遊びの観察と子ども理解					
	音楽・身体表現活動実習	①手遊び・歌遊び・リトミック					
2学期	子どもと表現活動	①子どもの表現活動の面白さ ②造る・描く ③言語表現活動 ④歌う、踊る、演奏する ⑤表現活動の実際					
	子どもと文学	①語り ②紙芝居 ③絵本 ④児童文学 ⑤アニメーション					
	現代の子どもの生活と文化	①テレビ・キャラクター・ゲーム ②子どもと年中行事					
	児童文化財の製作発表	ペープサート、人形劇、紙芝居等の製作・練習・発表					
	ふれあい育児体験	①事前学習・体験・反省とまとめ ②事前学習・発表・反省とまとめ					
3学期	子ども文化を支える場	①行政による公的な支え方 ②民間企業による支え方 ③子どものための各種施設 →児童図書館・家庭文庫 美術館・児童文学館・絵本美術館 プラネタリウム・科学館・天文台 動物園・水族館・博物館・公園 博物館・郷土館・歴史館 人形玩具ミュージアム・人形劇場					
	造形表現	画用紙、クレヨン、折り紙を使用した造形製作					
評価方法	観点別評価						
	①関心・意欲・態度 (15点)		②思考・判断・表現 (10点)		③技能 (25点)		④知識・理解 (50点)
	授業態度 5点 提出物 10点	定期考査 10点	技術の習得 20点 創意工夫 5点	定期考査 50点			
備考	全ての作品が提出していることが単位修得の条件となる。						

教科	家庭	科目名	フードデザイン	単位数	2	上限人数	24	
履修年次	3年次	履修条件	3年次講座は、2年次でフードを履修した生徒は選択できない。また、食品・食文化と同時履修はできない					
進路	栄養・調理系への進学 調理関係の就職							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 心身ともに健康な生活を営むためには欠かせない「食事」の意義と役割について理解するとともに、栄養・食品・献立・調理・テーブルコーディネートに関する知識と技術を身につけ、自ら食事を調える能力と態度を育てる。 家庭科技術検定(食物調理)3級の取得を目指す。 							
	単元名	学 習 内 容						
1 学期	食生活と健康	①食事の意義と役割		②食をとりまく現状				
	栄養素の働きと食事計画	①からだのしくみと食べ物	②炭水化物	③脂質	④たんぱく質			
	調理の基本：実技	⑤ビタミン	⑥ミネラル	⑦水				
	調理実習	家庭科技術検定(食物調理)4級・3級に向けて 日常食						
2 学期	栄養素の働きと食事計画	⑧消化と吸収		⑨食事摂取基準と食事計画				
	調理の基本：理論	⑩ライフステージと栄養計画						
	調理実習	①調理とおいしさ	②調理操作	③調味操作				
	調理実習	日常食、行事食						
3 学期	料理様式とテーブルコーディネート	①料理様式と献立 →日本料理 西洋料理 中国料理						
	フードデザイン実習	②テーブルコーディネート						
	食育	①献立作成						
	調理実習	①食育の意義と推進活動 日常食、行事食						
評 価 方 法	観点別評価							
	①関心・意欲・態度 (15点)		②思考・判断・表現 (10点)		③技能 (25点)		④知識・理解 (50点)	
	授業態度 提出物	5点 10点	定期考査	10点	技術の習得	25点	定期考査	50点
備考								

教科	家庭	科目名	食文化	単位数	2	上限人数	24	
履修年次	3年次	履修条件	フードデザイン・食品と同時履修はできない					
進路	栄養・調理系への進学 調理関係の就職							
学習目標	・食文化の成り立ち、日本と世界の食文化などに関する知識と技術を習得させ、食文化の伝承と創造に寄与する能力と態度を育てる。							
	単元名	学 習 内 容						
1 学 期	食文化の成立	食習慣の変化と食生活指針 食料自給率						
	日本の食文化	日常食・行事食・郷土料理 料理様式の発展						
	世界の食文化	食と宗教 主食の選択						
	調理実習	日常食 行事食 郷土料理						
2 学 期	世界の食文化	世界の料理の特徴と文化 食生活の国際化						
	食文化の伝承と創造	食文化の伝承の重要性 新しい食文化を創造する意義						
	調理実習	日常食 行事食 郷土料理						
3 学 期	食文化の未来像	日本の食環境 食文化の未来像						
	調理実習	日常食 行事食 郷土料理						
評 価 方 法	観点別評価							
	①関心・意欲・態度 (15点)		②思考・判断・表現 (10点)		③技能 (25点)		④知識・理解 (50点)	
	授業態度 5点 提出物 10点	定期考査 10点	技術の習得 20点 創意工夫 5点	定期考査 50点				
備考								

教科	家庭	科目名	食品	単位数	2	上限人数	24
履修年次	3年次	履修条件	フードデザイン・食文化と同時履修はできない				
進路	栄養・調理系への進学 調理関係の就職						
学習目標	・食品の分類とその特徴、食品の表示、食品の加工と貯蔵などに関する知識と技術を習得させ、食品を適切に選択、活用して食生活の充実向上をはかる能力と態度を育てる。						
	単元名	学 習 内 容					
1 学 期	食品の特徴 実験・実習	食品の特徴と性質 →穀類 いも類 砂糖類 豆類 種実類 野菜類 果物類 きのこと類 食品の調理性に関わる実験・調理実習					
2 学 期	食品の特徴 食品の表示 食品の加工と貯蔵 実験・実習	食品の特徴と性質 →海藻類 魚介類 肉類 卵 牛乳・乳製品 油脂類 寒天・ゼラチン 嗜好食品 調味料・香辛料 加工食品と加工方法 特別用途食品と保健機能食品 ①食品の表示制度 ②各種食品の表示 ①食品の加工 ②食品の貯蔵 食品の調理性に関わる実験・調理実習					
3 学 期	食品の生産と流通 実験・実習	①食品の流通と食糧需給 ②食品の流通機構 食品の調理性に関わる実験・調理実習					
評 価 方 法	観点別評価						
	①関心・意欲・態度 (15点)	②思考・判断・表現 (10点)	③技能 (25点)	④知識・理解 (50点)			
	授業態度 5点 提出物 10点	定期考査 10点	技術の習得 20点 創意工夫 5点	定期考査 50点			
備考							

教科	家庭	科目名	服飾手芸	単位数	2	上限人数	20	
履修年次	3年次	履修条件	特になし					
進路	服飾・デザイン系への進学希望者・服飾関係の就職希望者							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・手芸の種類、技法などに関する知識と技術を身につけさせ、手芸品を製作する。 ・手芸の技法を日常生活に取り入れ活用することができる能力を育てる。 							
	単元名	学 習 内 容						
1 学期	刺し子	花ふきんの作成（運針の技術習得） <ul style="list-style-type: none"> ・図案を写す ・刺し子 ・仕上げ 						
	パッチワーク	ポーチの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・パッチワークの手法で20×25cmの布を製作 ・キルティングの製作 ・ファスナーの付け方 						
2 学期	刺しゅう	刺しゅう技術の習得 10種類以上の刺しゅうを使って、ランチョンマットの製作						
	バッグ	裏地付きトートバッグの製作						
3 学期	バネ口金のポーチ	キルティングの製作 バネ口金を使用した小物入れの作成						
	ペーパークラフト	クラフトバンドを使用したかごの製作						
評 価 方 法	観点別評価							
	①関心・意欲・態度 (30点)		②思考・判断・表現 (10点)		③技能 (50点)		④知識・理解 (10点)	
	授業態度	15点	創意工夫	10点	技術の習得	40点	定期考査	10点
	提出物	15点			定期考査	10点		
備考	全ての作品が提出されていることが単位修得の条件となる。							

教科	商業	科目名	商品開発	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	特になし		
進路	商業系大学進学 専門学校 就職				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 商品開発に関する知識と技術を習得させる。 顧客満足を実現することの重要性について理解させる。 商品を企画・開発し、流通活動を行う能力と態度を育てる。 				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	1.商品と商品開発 2.商品の企画 3.商品の開発 実際に開発する	<ul style="list-style-type: none"> 商品開発の意義と手順 商品開発の方針とテーマの決定 商品コンセプトの立案 商品仕様の詳細設計 試作品の作成と評価 事業計画の立案 <ul style="list-style-type: none"> 主にグループワークを行う。 基礎知識として、外部講師から特別講義を受ける。 地元企業や中小企業診断士の方と連携し、実際に販売できる商品のアイデアを考える。 			
2 学 期	実際に開発する	<ul style="list-style-type: none"> 主にグループワークを行う。 市場調査 企業と連携して、オリジナルの商品を考える。 応用知識として、外部講師から特別講義を受ける。 シミュレーション 			
3 学 期	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 1年間のまとめ 結果報告 			
評 価 方 法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (20点)	②思考・判断・表現 (30点)	③技能 (30点)	④知識・理解 (20点)	
	授業態度 10点 レポート 10点	実習・演習 30点	実習・演習 20点 レポート 10点	レポート 20点 (定期考査含む)	
備考	<p>実際に企業と連携してビジネスアイデアや商品を開発する。 <u>グループワークを行うため、積極的に発言できる者・協調性が身に付いていることが望ましい。</u> <u>外部の人と接する機会が多いので、マナー(服装・挨拶・時間)がしっかりとしているもの。</u> 夏休みに活動してもらうことがある。</p>				

教科	商業	科目名	ビジネス経済応用	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	特になし		
進路	商業系大学進学 専門学校 就職				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営・経済活動に関する基礎的・基本的な知識を習得し、国際社会の一員としての心構えを習得する。 ・サービス経済社会の諸活動に適切に対応する能力と態度を育成する。 ・地域ビジネス事情について調査し、身近な産業の動向や資源について調べる。 				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	<p>第一章 「サービス経済化とサービス産業」 1節 産業構造の変化と労働 2節 サービス産業の現状</p> <p>第二章 「経済の国際化」 1節 企業の国際化・グローバル化 2節 国際化の発展と国際収支 3節 貿易の利益と課題 4節 国際資本移動 5節 外国為替</p>	<p>(1) 産業構造の変化 (2) 労働市場の変化 (3) 消費構造の変化 (4) 経済発展とサービス産業の現状 (5) 新しいビジネスチャンスが発見</p> <p>(1) 国際化からグローバル化へ (2) グローバル化の主体 (3) わが国のグローバル化 (4) 地域経済統合 (5) 国際収支の構造 (6) 国際収支と国内総生産 (7) 債権国と債務国 (8) 貿易の役割・構造の変化 (9) 国際資本移動の形態・役割 (9) 金融のグローバル化 (10) アメリカとヨーロッパにおける金融問題 (11) 世界経済の安定を目標とした金融規制 (12) 外国為替のしくみ・変動要因・種類 (13) 為替リスク</p>			
2 学 期	<p>第三章 「金融市場と資本市場」 1節 金融取引の発達 2節 貯蓄と投資の動向 3節 金融市場と資本市場の役割 4節 金融市場と資本市場の課題</p> <p>第四章 「企業経営」 1節 企業経営の特色 2節 企業経営と外部環境 3節 企業の社会的責任 4節 企業の海外進出と経営</p> <p>第五章 「ビジネスの創造と地域産業の振興」 1節 起業の手続き 2節 新たなビジネスの展開</p>	<p>(1) 金融取引とは何か・現状 (2) 直接金融と間接金融 (3) 貯蓄と投資の意義 (4) わが国における貯蓄と投資の動向 (5) 金融市場・資本市場とは (6) 金融市場・資本市場を支える行政組織 (7) 経済の国際化と金融市場・資本市場の課題</p> <p>(1) 自由な競争と日本的経営 (2) 財務的特質と企業間経営 (3) 雇用慣習の特色 (4) 集団的意思決定 (5) わが国企業経営の課題 (6) 少子高齢化と人口減少の対応 (7) 国民生活の変化への対応 (8) 国際化の進展・規制緩和対応 (9) 情報化社会への対応 (10) 企業の社会的責任とその動向 (12) 企業の社会的責任とコーポレートガバナンス (13) 企業の海外進出の現状 (14) 企業経営の現地化・地域社会への貢献</p> <p>(1) 起業の意義 (2) 経営理念の作成 (3) 企業に際しての支援制度 (3) 株式会社設立の流れ</p>			
3 学 期	3節 地域ビジネス事情	(4) わが国の新たなビジネスの現状 (5) 新たなビジネスの参考 (6) 地域ビジネスの動向と地域資源 (7) 地域ビジネスの立案			
評 価 方 法	観点別評価				
	① 関心・意欲・態度 (20点)	② 思考・判断・表現 (30点)	③技能 (20点)	④知識・理解 (30点)	
	授業態度 10点 提出物 10点	定期考査 30点	定期考査 20点	定期考査 30点	
備考	2月に実施する「商業経済検定」(ビジネス経済B)の取得を目指す				

教科	商業	科目名	ビジネス経済	単位数	2	
履修年次	3年次	履修条件	特になし			
進路	進学（経営・商学系大学 専門学校） 就職					
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに必要な経済に関する基礎的な知識を習得する。 ・経済の仕組みや概念について理解する。 ・経済事象を主体的に考える能力と態度を身につける。 					
	単元名	学 習 内 容				
1 学 期	1. 市場と経済	1 節 資源配分のしくみ 2 節 サービス産業の現状				
	2. 需要と供給	1 節 需要の概念と需要の変化 2 節 供給の概念と供給の変化				
	3. 価格決定と市場の役割	1 節 価格決定のしくみ				
2 学 期	4. 経済成長と景気循環	2 節 市場の役割と課題				
		1 節 GDP（国内総生産）				
		2 節 経済循環				
		3 節 物価と実質GDP				
	4 節 経済成長					
5 節 景気変動とインフレーション						
3 学 期	5. 経済政策	1 節 財政				
評 価 方 法	観点別評価					
	①関心・意欲・態度 (10点)		②思考・判断・表現 (30点)		③技能 (20点)	④知識・理解 (40点)
	授業態度 5点 提出物 5点		定期考査 20点 グループワーク 10点		定期考査 20点	定期考査 40点
備考	2月に実施する「商業経済検定」(ビジネス経済A)の取得を目指す					

教科	商業	科目名	財務会計Ⅱ	単位数	4
履修年次	3年次	履修条件	2年次に財務会計Ⅰ・原価計算を履修した生徒		
進路	商業・経済系大学等への進学希望者 事務系等への就職希望者				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・財務会計に関する知識と技術を修得させ、会計責任を果たすことの重要性について理解させるとともに、会計情報を提供し、活用する能力と態度を育てる。 ・全商財務会計検定・日商簿記検定2級・全商簿記実務検定（未取得者）を目指す。 				
	単元名	学 習 内 容			
1 学期	1 財務会計の基本概念と会計基準	<ul style="list-style-type: none"> ・財務報告の目的 ・資産負債アプローチと収益費用アプローチ ・会計基準の国際的統合 			
	2 財務会計の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・資産会計 ・負債会計 ・純資産会計 ・リース会計 ・税効果会計 			
2 学期	3 企業活動の展開と財務会計	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨換算会計 ・キャッシュフロー会計 キャッシュフロー計算書の意義と必要性 キャッシュフロー計算書の作成手続き 			
	4 企業結合の会計	<ul style="list-style-type: none"> ・企業結合会計 ・連結財務諸表の作成 			
	5 財務諸表の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表の活用 企業グループの現状把握 株価の判断材料 企業価値の計算 			
3 学期	6 監査と職業会計人	<ul style="list-style-type: none"> ・監査と職業会計人 二つの法律と監査の仕組み 財務諸表監査の目的とリスク・アプローチ 職業会計人の社会的役割と倫理 			
評価方法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (10点)	②思考・判断・表現 (20点)	③技能 (30点)	④知識・理解 (40点)	
	授業態度・提出物 10点	定期考査 20点	定期考査 20点 小テスト 10点	定期考査 40点	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次に財務会計Ⅰ・原価計算の講座に対し、興味を持って学んだ者の履修を望む。 ・12月の全商財務会計検定を全員受験する。 ・希望者は、日本商工会議所主催簿記検定2級を受験する。(6月・8月・11月・2月実施) 				

教科	商業	科目名	ビジネス情報管理	単位数	4
履修年次	3年次	履修条件	2年次にプログラミングか情報処理を履修した生徒		
進路	進学（情報系大学 専門学校）				
学習目標	情報通信ネットワークやビジネス情報システムに関する知識と技術を習得させる。 ビジネス諸活動において情報を管理し、共有することの意義や必要性について理解する。 業務の合理化を積極的に推進する能力と態度を育てる。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	ビジネスと 情報システム	ビジネスと情報の管理 ビジネスと情報共有、ビジネスとICT 情報システムと業務の合理化 情報システムと経営マネジメント 業務の合理化とシステムの実際			
	情報通信ネットワ ークの構築と運用 管理	情報通信ネットワークのしくみと通信方法 インターネットとWAN、LANのアクセス制御方式、通信プロトコル ネットワーク機器 ネットワークインタフェース、LAN間接続装置、インターネットへの接続 情報通信ネットワークの設計 ネットワークの設計手順、ネットワークの導入と運用管理 ハードウェアとソフトウェアの導入			
2 学 期	情報通信ネットワ ークの構築と運用 管理	運用管理 管理ツールやセキュリティポリシーによる運用管理 システム障害や不正アクセス対策 ビジネス向けデバイスの活用とクラウド 携帯端末の活用、クラウドの利用 情報通信ネットワークの構築と運用管理、構成図の作成			
	ビジネス情報シス テムの開発	企業の経営戦略 経営戦略の立案、販売情報・財務情報の分析 システム開発の手法 ソフトウェア開発モデル、オブジェクト指向モデル、プロジェクトマネジメント等 システム開発の手順 ウォータフォールモデル開発、プロトタイプモデル開発 ビジネス情報システムの開発手順等 表計算ソフトとデータベースソフト連携・ウェブサーバ利用システム開発等			
3 学 期	ビジネス情報シス テムの課題と展望	セキュリティ管理 セキュリティ管理の必要性、情報保護の方法 情報システムの課題と展望			
評 価 方 法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (20点)		②思考・判断・表現 (30点)		③技能 (10点)
出席・授業態度 20点		小テスト 10点 定期考査 20点	実習・演習 10点		定期考査 40点
備 考	ITパスポート試験に挑戦する（通年） 情報処理検定（1級ビジネス情報部門）未取得者は受験（9月・1月）				

教科	商業	科目名	会計の基礎	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	意欲のある生徒		
進路	経済系大学等への進学希望者・事務系等への就職希望者 簿記に関する基本的な学習の復習と活用を必要とするもの				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・簿記と会計の違いを理解する。 ・簿記の技術を習得し、会計の知識等を深めるための能力を養う。 ・グループワークや発表を通し、自らの意見や考えを伝える力を育む。 				
	単元名	学 習 内 容			
1学期	現金および預金 3分法と掛け取引 債権と債務 手形 有価証券 固定資産 貸し倒れ 資本金と引出金 収益と費用	現金・預金と記帳法 商品に関する取引と掛け取引 掛け取引以外の債権・債務 手形意味と役割、手形債権と手形債務 有価証券の取引、利息と配当金 有形固定資産の処理、減価償却 貸倒れとは、貸倒れの見積もりと引当金 資本金、引出金、税金 収益・費用の繰延べ・見越し、消耗品			
2学期	財務諸表 企業会計 資産・負債・純資産 損益計算	試算表、棚卸表、精算表、B/S、P/L 企業会計の意味・役割・機能 企業会計基準と財務諸表の種類と見方 資産・負債・純資産の意味と分類 損益計算の意味と収益費用区分 当期純利益計算			
3学期	企業の財務諸表を分析する	財務諸表を分析する 企業の利害関係者について			
評価方法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (10点)	②思考・判断・表現 (30点)	③技能 (30点)	④知識・理解 (30点)	
	出席・授業態度 10点	定期考査 20点 提出物 10点	定期考査 30点	定期考査 30点	
備考	日本商工会議所主催 簿記検定3級の取得を目指す生徒は受験する。 財務会計Ⅱを選択する生徒は、履修しないことを勧める。				

教科	商業	科目名	ビジネス情報	単位数	4
履修年次	3年次	履修条件	2年次に情報処理を履修した生徒		
進路	<ul style="list-style-type: none"> ・商業・情報系進学から就職まで幅広く対応。 ・情報系大学・専門学校へは資格取得が効果あり。 				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報通信ネットワークの導入やソフトウェアの活用に関する知識と技術を習得する。 2 情報を効率的に処理し重要性について理解させるとともに、ビジネスの諸活動においてコンピュータを適切に運用する能力と態度を育てる。 3 全商情報処理検定（ビジネス部門）1級・ITパスポート試験合格を目標に学習する。 				
	単元名	学 習 内 容			
1 学期	1 オフィス業務と情報通信ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の情報化 オフィス業務 エンドユーザコンピューティング ・情報通信ネットワークの導入と運用 LANの利用 LANの構築 安定したシステムの構築 ・データの保護 			
	2 データベースソフトウェアの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスとデータベース データベースの特徴 リレーショナルデータベース ・基本的なデータベースの作成 データベースソフトの構成要素 データベースの作成 報告書の作成 ・発展的なデータベースの作成 データベース設計 リレーショナルデータベース作成 手続きの自動化 ・SQL 			
2 学期	3 全商情報処理検定対策	重要用語の確認 表計算ソフトによるデータ分析 関数			
	4 表計算ソフトの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・データの集計・分析 データ集計・分析・シミュレーション ・オペレーションズリサーチの基礎 在庫管理 線形計画法 待ち行列 ・手続きの自動化 マクロの基礎 			
3 学期	5 ソフトウェアを活用したシステム開発	<ul style="list-style-type: none"> ・アルゴリズム アルゴリズム ・表計算ソフトウェアの活用 表計算ソフトのプログラミング ユーザフォーム ・システム開発 表計算ソフト・データベースを利用したシステム開 			
評価 方法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (10点)	②思考・判断・表現 (30点)	③技能 (20点)	④知識・理解 (40点)	
	授業態度 5点 提出物 5点	定期考査 30点	定期考査 20点	定期考査 30点 小テスト 10点	
備考	情報処理検定（1級ビジネス情報部門）未取得者は受験する ITパスポート試験に挑戦する				

教科	商業	科目名	経済活動と法	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	他の商業経済検定科目(ビジネス経済・ビジネス経済応用・マーケティング・広告と販売促進・商品開発)を1科目以上履修することが望ましい。		
進路	進学(商業系大学)、就職				
学習目標	ビジネスに必要な法規に関する基礎的な知識を習得させ、経済社会における法の意義や役割について理解し、経済事象を法的に考え、適切に判断して行動する能力と態度を育成する。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	1章 経済社会と法 1 変化発展する経済社会と法	1 経済活動における法の役割、2 法の意義と体系、 3 経済環境など社会の変化と法、4 法の適用と解釈			
	2章 権利・義務と財産権 1 権利・義務とその主体 2 物と財産権 3 知的財産権	1 権利と義務、2 権利と義務の主体、3 自然人の権利能力、 4 自然人の行為能力と制限行為能力者制度、5 法人 1 物、2 財産権とその種類 1 知的財産とその保護、2 知的財産権とその種類、3 工業所有権、 4 アートに関する知的財産権			
2 学 期	3章 財産権と契約そしてその保護 1 財産権と契約 2 物の売買 3 物の貸借 4 契約によらない財産権変動 5 財産権の保護	1 取引と契約、2 契約の一般原則、3 契約と意思表示、4 契約の分類 1 売買、2 不動産の売買、3 動産の売買、4 債権の売買、5 売買契約の保証 1 消費貸借、2 貸貸借、3 宅地の貸借、4 建物の貸借、5 使用貸借 1 時効の制度、2 所有権の取得できる特別な場合、 3 債権・債務が消滅する特別な場合 1 物件の保護、2 債権の保護、3 債権の担保、4 不法行為			
	4章 企業活動に関する法 1 企業活動の主体 2 営業活動の自由と制限 3 株式会社と法	1 民法と商法、2 商行為 1 営業自由の原則、2 営業自由の制限 1 会社の種類、2 株式会社の特徴と株主の有限責任、3 株式会社設立の手続き 4 発起人と設立時取締役の責任、5 株式と株主の権利、6 株式の種類、 7 株式の譲渡、8 株式会社の機関とその責任、9 株式総会、 10 取締役・取締役会・代表取締役、11 取締役の義務と責任、12 監査役、 13 会計参与、14 会計監査人、15 委員会を置く株式会社、16 資金調達、 17 企業再編成、18 会社関係書類の電子化と電子公告			
3 学 期	5章 取引に関する法 1 手形・小切手と法 2 金融取引	1 手形・小切手の意義と性質、2 手形行為・小切手行為、3 約束手形、 4 為替手形、5 小切手、6 手形・小切手と企業活動 1 金融取引の現状と課題、2 金融商品取引、 3 電子記録債権、4 電子資金移動の現状と課題			
	6章 企業の責任と法 1 法令遵守 2 消費と法 3 労働と法 4 紛争の予防と解決	1 法令遵守、2 企業における法令遵守の重要性、3 説明責任 1 消費者の保護に関する法律、2 消費者の安全、3 生活に身近な特殊売買、 4 消費者信用、5 販売方法の多様化と消費者の保護 1 労働に関する一般法、2 労働に関する特別法、 3 その他の労働に関する特別法、4 働く者の福祉 1 紛争の予防、2 紛争の解決、3 強制執行			
評 価 方 法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (20点)	②思考・判断・表現 (20点)	③技能 (20点)	④知識・理解 (40点)	
	授業態度 10点 提出物 10点	授業中の発表 10点 定期考査 10点	定期考査 20点	定期考査 40点	
備考	全商商業経済検定2級(2月実施:経済活動と法)の取得を目指す。				

教科	商業	科目名	総合実践	単位数	3
履修年次	3年次	履修条件	ビジネス基礎を履修した生徒 簿記3級以上を取得した者が望ましい 年間を通じて正装で臨む		
進路	進学（商業・経済・経営系） 就職				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小売業に関する仕入・販売取引を模擬的に行い、実務に応用できる能力と態度を育てる。 ・売買取引の会計処理や株式の模擬売買、市場調査による報告書作成を行い、ビジネス社会の理解を深める。 				
	単元名	学 習 内 容			
1 学期	総合実践の学習にあたって	オフィスの仕事と総合実践の学習 学習目標と内容、学習方法、学習上の心得			
	応対の心得	応対の一般的心得、話しかたと言葉づかい、来客との応対、電話による応対			
	文書の作成	事務における文書の重要性、事務用文書の役割と特質、文書作成の基本 通信文書の作成、取引に用いられる文書			
2 学期	代金の支払い	小切手による支払い、手形による支払い、振込による支払い 取引商品、流通経路、帳簿組織、勘定科目 企業の名称・所在地・取引銀行、各勘定残高			
	仕入取引 (実践あり)	値段の問い合わせ 商品の発注 商品の受け取り 代金の支払い			
	販売取引 (実践あり)	値段の見積もり 商品の受注 商品の発送 代金の受け取り			
	取引のまとめ	諸経費の支払いなど 伝票の集計と転記 決算			
	取引演習	取引商品、流通経路、帳簿組織、勘定科目 企業の名称・所在地・取引銀行			
3 学期	総合取引演習 (一連の流れ)	取引商品、流通経路、帳簿組織、勘定科目 企業の名称・所在地・取引銀行			
	総合取引演習 (決算)	製造業者によってつくられた商品が、卸売商を経て、小売商に販売されるまでの 帳簿記入・会計処理を行い、決算を経て貸借対照表・損益計算書を作成し、帳簿 を締め切る。			
評価 方法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (20点)		②思考・判断・表現 (10点)		③技能 (20点)
	④知識・理解 (50点)				
	出席・授業態度 10点 提出物 10点	授業中の発表 10点	実習・演習 20点	定期考査 50点	
備考	希望者は、2月全国商業高等学校協会主催商業経済検定（ビジネス基礎）3級を受験。				

教科	商業	科目名	電子商取引	単位数	3	上限人数	35
履修年次	3年次	履修条件	特になし				
進路	事務系就職希望者 商業系・情報系の学校進学者						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を習得させ、情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解させるとともに、情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を育てる。 ・全商ビジネス文書実務検定1級・2級を目指す 						
	単元名	学 習 内 容					
1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・全商ビジネス文書実務検定対策 ・情報通信技術の進歩とビジネス ・コンテンツの制作 	全商ビジネス文書実務検定対策 ブラインドタッチの習得 1 ビジネスの変化 2 情報通信ネットワークの活用と課題 1 ファイルの形式 2 図形 3 静止画 4 動画 5 音声 6 情報の統合					
2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・全商ビジネス文書実務検定対策 ・電子商取引とビジネス 	全商ビジネス文書実務検定対策 1 電子商取引の仕組み 2 企業間取引と企業対消費者間取引 3 電子決済のしくみと方法 4 電子商取引システムの作成					
3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・文書デザイン作成 	図形、オブジェクト等による文書作成					
評価方法	観点別評価						
	① 関心・意欲・態度 (10点)	②思考・判断・表現 (40点)	③技能 (20点)	④知識・理解 (30点)			
	授業態度・提出物 10点	授業中の課題 10点 定期考査 30点	実技課題 20点 (実技試験を課す場合④より20点分を③に付加する)	定期考査 30点			
備考	授業内の課題に意欲的に取り組み、完成させること。						

教科	商業	科目名	情報処理	単位数	4	上限人数	35
履修年次	3年次	履修条件	特になし				
進路	経済系大学等への進学希望者・各種専門学校 事務系等への就職希望者						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに関する情報を収集・処理・分析し、表現する知識と技術を習得させる。 ・情報の意義や役割について理解させるとともに、ビジネスの諸活動において情報を主体的に活用する能力と態度を育てる。 						
	単元名	学 習 内 容					
1 学 期	第1章 ビジネスと情報 (1) ビジネスと情報 (2) 情報モラル (3) ハードウェアとソフトウェア 第2章 情報通信ネットワーク (1) 情報通信ネットワークの概要 (2) ビジネス情報の検索と収集 (3) ビジネス情報の受信と発信 (4) セキュリティ管理の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおける情報の意義と役割 ・ビジネスにおけるコンピュータの役割とそのシステム ・コンピュータの基本的機能 ・パソコンのハードウェアとソフトウェア ・情報モラルとネチケット ・情報通信ネットワークの利用方法 ・情報通信ネットワークとは ・検索エンジンの利用方法 ・電子メールの利用方法 ・個人情報の管理と法律 ・マルウェアの種類と対策 ・セキュリティ管理とは ・インターネット上の犯罪 					
	第3章 ビジネス情報の処理と分析 (1) 表計算ソフトの基礎知識 (2) 表計算ソフトの応用 (3) ビジネスと統計	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトの基本操作 ・発展的な関数の使い方 ・データベース機能の利用 ・統計の考え方とデータ分析 					
3 学 期	第4章 ビジネス文書の作成 (1) 文章の表現 (2) 文章の作成 (3) 文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい文章の書き方 ・文字と文章の入力 ・通信文書の種類と作成 					
	第5章 プレゼンテーション (1) プレゼンテーションの技法 (2) ビジネスとプレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの基本知識と技法 ・プレゼンテーションソフトの利用 ・インターネットを活用したビジネス 					
評 価 方 法	観点別評価						
	①関心・意欲・態度 (20点) 授業態度・提出物 10点 演習 10点	②思考・判断・表現 (20点) 定期考査 20点	③技能 (20点) 小テスト 10点 授業課題 10点	④知識・理解 (40点) 定期考査 40点			
備考	9月に全国商業高等学校協会主催情報処理検定ビジネス情報部門2級を受験する。 1月に1級を受験する。資格を利用し大学・専門学校など進路実現を図る。						

教科	商業	科目名	マーケティング	単位数	2		
履修年次	3年次	履修条件	他の商業経済検定科目(ビジネス経済・ビジネス経済応用・経済活動と法・商品開発)を1科目以上履修することが望ましい。				
進路	進学(経営・商学系大学) 就職						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティングに関する知識と技術を習得して、マーケティングの意義・役割について、学びが実社会に活かされていることを知る。 ・マーケティング活動を計画的・合理的に行う能力と態度を育成する。 						
	単元名	学 習 内 容					
1 学 期	現代市場とマーケティング	現代市場の特徴 マーケティングの概要					
	市場調査	市場調査の意味 市場調査の手順 実態調査の方法					
	消費者行動	消費者行動と購買 購買意思決定過程 製品のライフサイクルと普及					
2 学 期	販売計画	販売計画と販売予測 販売計画の立案・実施・統制					
	製品計画	製品計画の概要 製品ミックスと製品政策					
	仕入計画と商品管理	仕入計画 商品管理					
	販売価格	販売価格の決定 価格戦略					
3 学 期	販売経路	販売経路の設定 販売経路の強化					
	販売促進	販売促進の重要性 広告・販売員活動 ブランド 信用販売・その他の販売促進					
評 価 方 法	観点別評価						
	①関心・意欲・態度 (15点)		②思考・判断・表現 (40点)		③技能 (10点)	④知識・理解 (35点)	
	授業態度	5点	定期考査	30点	定期考査	10点	定期考査
提出物	10点	レポート	10点				
備考	全商商業経済検定2級(2月実施：マーケティング)の取得を目指す。						

教科	商業	科目名	ビジネス実務	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	特になし		
進路	就職				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスにおける基本実務とコミュニケーションの意義を理解する。 ・数の表現、記入法など数の扱い方について理解し、ビジネス計算の基礎を身につける。 ・電卓によるタッチメソッドで四則計算ができるようにする。 				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	ビジネスと珠算	各部の名称と機能			
	電卓の基礎	指の分担やキータッチ			
	普通計算	加減算の練習と反復			
	加減乗除算	乗除算の練習と反復			
	ビジネス計算	貨幣の換算 度量衡の換算 割合の計算 損益計算 単利計算 手形割引の計算			
	ビジネスマナー	挨拶 訪問・来客の応対 電話の応対 交際のマナー			
2 学 期	普通計算	加減乗除算 桁数5～11桁での計算			
	ビジネス計算	ビジネス計算発展 売買・損益の計算 単利計算 手形割引の計算 複利計算・減価償却費の計算 複利年金の計算 証券投資の計算 経営分析の計算			
	ビジネスコミュニケーション	ディスカッション プレゼンテーション 販売 ディベート ビジネス文書			
3 学 期	オフィス業務	業務の進行方法 スケジュール管理 オフィス環境の整備 資料管理の方法 会議 給与計算の方法 ソフトウェアの業務への活用			
評 価 方 法	観点別評価				
	①関心・意欲・態度 (10点)	②思考・判断・表現 (20点)	③技能 (30点)	④知識・理解 (40点)	
	授業態度 5点 提出物 5点	定期考査 20点	定期考査 20点 小テスト 10点	定期考査 40点	
備考	全商ビジネス計算実務検定1、2級の取得を目指す。				

教科	学校設定	科目名	ボランティア実践	単位数	2	上限人数	20
履修年次	3年次	履修条件	特になし				
進路	保育・福祉・看護・医療系への進学 就職						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に関する基礎的な知識を習得する。 ・実践活動をとおしてボランティアに対する理解を深め、自主的な活動へとつなげるきっかけとする。 						
	単元名	学 習 内 容					
1 学 期	オリエンテーション 理論	ボランティアとは					
	実践	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsについて、テーマを絞りグループ学習を行って発表 ・収集ボランティアについて ・リサイクル活動について ・ピクトグラムについて ・募金活動について など ・社会福祉協議会について ・清掃活動：学校周辺・校内、通学路の清掃 ・募金活動 ・手話の学習①50音②濁音・拗音・拗濁音・長音③自己紹介④挨拶 など 					
	外部講師 課題	<ul style="list-style-type: none"> ※実技テスト ・外国人支援について ・外国人研修生支援について ・車椅子、松葉杖、アイマスク体験について など 夏季休業中の課題の準備					
2 学 期	課題 理論	夏季休業中の課題のまとめと報告					
	実践	<ul style="list-style-type: none"> ・大人のボランティアについて ・ホームレス、生活保護について など ・外部講師による手話の学習 ①聴覚障がい者への理解 ②指文字 ③あいさつ ④⑤単語 ⑥⑦会話 ⑧発表 ・地域の高齢者との交流 ・地域の幼児との交流 ・清掃活動：学校周辺・校内、通学路の清掃 ・リサイクル、アップサイクル品制作 ・除雪 ・募金活動 など 					
	外部講師 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティア団体の活動について ・ホームレス支援について ・乳ガン撲滅NPO法人の講演 など ・収集ボランティア活動準備 					
3 学 期	課題 理論 実践	<ul style="list-style-type: none"> ・収集ボランティア活動収集物提出、まとめ、報告 ・様々なボランティア活動を知る、現代の福祉問題について考える など ・清掃活動：学校周辺・校内、通学路の清掃 ・除雪 など 					
	まとめ	1年間のボランティア理論、実践などのまとめ					
評 価 方 法	観点別評価						
	①関心・意欲・態度		②思考・判断・表現		③技能		④知識・理解
	授業態度	5点	定期考査	10点	技術の習得	20点	定期考査
提出物	10点			創意工夫	5点		
備考	定期考査は1学期期末、2学期期末、学年末の3回実施する。						

教科	総合的な探究の時間	講座名	国際・文化・コミュニケーション	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	必履修科目		
進路	特になし				
学習目標	朝来市の観光について多角的に学び、観光を維持、活性化するための方法をチームで協力して探る。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	オリエンテーション	思考実験・グループディスカッション・プレゼンテーション			
	問題解決に向けての取組み	課題検討、課題解決法の考察			
	観光協会の方の話	朝来市の観光の現状、課題を知る			
	お茶摘み体験	体験を通して観光客へのアピール方法を考える			
2 学 期	観光地体験	体験を通して観光客へのアピール方法を考える			
	アンケート作り	但馬のALTへのアンケート			
	旅行サイトへの投稿	トリップアドバイザー等への英語での投稿			
	わだやマーケット準備	わだやマーケット展示・発表・物販内容決定			
	わだやマーケット振り返り	振り返り・改善案の提案			
3 学 期	わこうLab。発表準備	発表準備			
	わこうLab。発表会	発表会 今年度の振り返り			
評価方法	◎ 観点別評価 ①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度 の3観点を基に複数の目で行動観察から評価をする。				
備考	必要備品を購入する場合に、学年費から徴収することがある。				

教科	総合的な探究の時間	講座名	経済・経営学	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	必履修科目		
進路	特になし				
学習目標	朝来市の企業や施設に対して、経済の活性化や経営状況の向上を図るためにできることを研究する。自ら課題を発見し、課題解決に向けてチームで協力して取り組む姿勢や、探究心を育む。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学期	朝来市の抱える課題について 経済・経営学の内容を知る 経営者から経営について知る わだやマーケットの発表内容の 検討	課題に対する解決策やそれに伴う問題点について考える。 朝来市の課題と関連付ける。 地域で活躍する経営者と対話し、経営的な視点から地域の課題解決 を考える。			
2 学期	朝来市への集客方法を検討する 集客方法の決定とシミュレー ションを行う わだやマーケット発表 わだやマーケット分析	高校生目線で考える地域の課題とそれに対する課題解決策をまと め、朝来市集客に向けての方法を模索する。 わだやマーケットに向けて集客方法とシミュレーションを事前 に行い、実施後の分析に役立てる。 これまでの活動成果について発表する。 わだやマーケットを経営的な視点から分析し、イベント経営のあり 方について客観的に考察する。			
3 学期	わこうLab。発表準備 わこうLab。発表会	発表会に向けての準備をする。 これまでの活動成果について発表する。 今年度の振り返りをする。			
評価 方法	◎ 観点別評価 ①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度 の3観点を基に 複数の目で行動観察等から評価をする。				
備考	必要備品を購入する場合に、学年費から徴収する場合がある。				

教科	総合的な探究の時間	講座名	自然・農学	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	必履修科目		
進路	特になし				
学習目標	地域の自然環境の豊かさを体験し、地域の課題に触れ地域貢献することで、但馬地域で生活することの誇りを感じ、但馬地域の自然環境を守り共生する態度を育てる。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学期	オリエンテーション				
	農業実習	グループワーク ・サツマイモ等の苗植え実習 ・サツマイモ芋掘り体験プレゼンテーション準備（こども園）			
	河川環境調査	フィールドワーク ・河川での環境・自然環境調査①(円山川)			
2 学期	河川調査	フィールドワーク ・河川での環境・自然環境調査②(円山川)			
	農業実習	グループワーク ・サツマイモ掘り体験プレゼンテーション（こども園） ・サツマイモ掘り体験実施 ・サツマイモ料理研究			
	わだやマーケット準備	展示・発表・体験など準備			
3 学期	わだやマーケット振り返り	振り返り・改善案の提案			
	わこうLab。発表準備	発表準備			
	わこうLab。発表会	学習成果について発表 今年度の振り返り			
評価方法	◎ 観点別評価 ①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度 の3観点を基に複数の目で行動観察等から評価をする。				
備考	必要備品を購入する場合に、学年費から徴収することあり				

教科	総合的な探究の時間	講座名	防災・保健・福祉学	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	必履修科目		
進路	特になし				
学習目標	地域の防災・子育て・福祉に関する分野で自ら課題を発見し、課題解決に向けてチームで協力して取り組む姿勢や、判断力・表現力・発信力・積極性・探究心を育む。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	地域の課題について	課題に対する解決策やそれに伴う問題点について考える。			
	校内美化貢献活動	校内の壁のペンキ塗りをすることで、美化活動に貢献する。			
	地域の福祉	車椅子体験を通して、福祉についての理解を深める。			
	地域の子育て	朝来市地域おこし協力隊、NPO法人海運堂から地域の子育てについて講話をしてもらう。また、地域の子育て支援センターについて知る。			
	地域の防災	地域の防災についての理解を深める。			
	1学期の振り返り	活動を振り返り、今後の探究内容の方向性を確認する。			
2 学 期	和田山特別支援学校交流①	和田山特別支援学校に赴き、交流を行う。			
	和田山特別支援学校交流②	和田山特別支援学校の生徒に来校してもらい、交流を行う。			
	高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉施設の訪問に向けての講義を受け、発表内容検討する。 ・老人福祉施設へ訪問する。 			
	わだやマーケット発表	これまでの活動成果について発表する。			
	わだやマーケット分析	わだやマーケットを経営的な視点から分析し、イベント経営のあり方について客観的に考察する。			
3 学 期	わこうLab。発表準備	効果的な発表の仕方を学び、発表会に向けて準備を行う。			
	わこうLab。発表会	<p>これまでの活動成果について発表する。</p> <p>今年度の振り返りをする。</p>			
評価方法	<p>◎ 観点別評価</p> <p>①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度 の3観点を基に複数の目で行動観察等から評価をする。</p>				
備考	必要備品を購入する場合に、学年費から徴収する場合があります				

教科	総合的な探究の時間	講座名	人間科学・教育	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	必履修科目		
進路	特になし				
学習目標	「遊び」の実践や研究を通して、人間の心身やコミュニケーションのあり方について理解を深める。さらに、「遊び」を活用した地域の魅力の発信について考える。				
	単元名	学 習 内 容			
1 学期	「遊び」の実践 朝来市の自然をいかした「子育て」「遊び」を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・外遊び体験 ・室内遊び体験 ・タンポポ採集とタンポポコーヒーづくり体験 ・朝来市の自然をいかした子育てについて（外部講師） ・オオサンショウウオについて調べる ・日本ハンザキ研究所見学（外部講師・フィールドワーク） ・ソーシャルスキルトレーニングを学ぶ ・「演劇」で自分を表現する 			
2 学期	「遊び」の制作 こども園、わだやマーケットでの「遊び」の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「遊び」づくり ・こども園訪問 ・わだやマーケットでキッズスペースの提供 			
3 学期	わこうLab。発表準備 わこうLab。発表会	わだやマーケット振り返りと、発表準備 発表会 今年度の振り返り			
評価 方法	◎ 観点別評価 ①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度 の3観点を基に複数の目で行動観察等から評価をする。				
備考	必要備品を購入する場合に、学年費から徴収することがある。				

教科	総合的な探究の時間	講座名	社会学	単位数	2
履修年次	3年次	履修条件	必履修科目		
進路	特になし				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に眠っている魅力を高校生の視点から発掘し、まちの活性化の一役を担う。 ・自ら課題を発見し、課題解決に向けてチームで協力して取り組む姿勢や、判断力・表現力・発信力・積極性・探究心を育む。 				
	単元名	学 習 内 容			
1 学 期	オリエンテーション	グループディスカッション「朝来市における課題」			
	和田山駅前の活性化について 地図作り①	和田山駅前の現地調査（フィールドワーク） 現地調査をもとに、和田山駅前の魅力を伝えるような地図の作成			
2 学 期	地図作り②	フィールドワークやインタビューをもとに、地図の内容の深化を図る			
	わだやマーケット 朝来市魅力再発見のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・展示、発表、物販内容の決定 ・振り返り、改善案の提案 ・グループディスカッション ・1年間のまとめ 			
3 学 期	わこうLab。発表準備	発表会に向けて準備			
	わこうLab。発表会	発表会 今年度の振り返り			
評価方法	◎ 観点別評価 ①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度 の3観点を基に複数の目で行動観察等から評価をする。				
備考	必要備品を購入する場合に、学年費から徴収することがある。				